愛國婦人會機關

愛國婦人

愛國婦人會の目的は軍人の遺族及癈兵を救護するにあり

毎月五日二十日發行

一部金參錢　一ヶ月金六錢　半年分參拾六錢　全國無遞送料
廣告料一行四拾錢
本號全部禁轉載
發行所　東京麹町區(牛ヶ淵公園)　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社說

◎少女の作文

婦人の家庭以外の働きといふ題にて作れる少女の文に、「婦人の家庭以外に働くべき事多し、例へば國の競爭は男女共にするものなり、戰地に赴き、傷病兵を看護し、孤兒院などに盡力し、又赤十字愛國婦人會を盛にすれば、大に國の爲めに盡すとなるべし」といふがあり、その他之に類するもの尠なからず、以て愛國婦人會が軍人のみならず、如何に日本の少女の心を動かしつゝあるかを知るに足るべし、愛國婦人會は單り軍人遺族及び癈兵救護の會にあらず、日本婦人の道德を左右するの會なり、會及び會員たるものは此意外なる、しかも當然なる影響に鑑み、遠大なる着眼を以て奮勵事に當らざるべからず。

◎婦人の歡迎

市はアーチを以て、町は旗を以て、軍人の凱旋を歡迎す、孰れもその情に於て軒輊する所なく、軍人も定めて非常に滿足するべし、然れどもアーチあり旗ありて、婦人の歡迎なくんば如何、龍に晴眼なく花に薫なきか如くなるべし。軍人を勇ましく戰はせたるの婦人は、また之を歡び迎へざるべからず、婦人は凱旋の光彩なり仕上げなり、婦人のよく歡迎の實を擧ぐるに於て、始めて首尾全しといふべきなり。

◎遺族の深痛

凱旋の軍人、家族の喜びを見るにつけて、今更痛ましきは遺族の人々なり、軍人の歡迎を怠らざると共に、遺族に對する一層重大の任務あることを忘るべからず。

◎婦人の服裝

夏は暑いのに負けて不用のものは成るべく身に附けざるが故に、婦人も日本人らしけれど、これから寒くなるにつけて、襟卷、肩掛け、手袋等種々のものを附けて、何國の人ともいへぬ者出來上りて、千百の異體の晝行するこそ苦々しき限りなれ。その襟恰も野蠻人が文明人より赤い片れハンケチなど貰ひて、首、腰の邊りに下げたると一般、世界の日本と名乘る今日、外國の手前もあり、少しは考へて婦人は服裝をなされたきものなり。

◎用意

今年も追々差し迫り來れり。晦日になつて慌てぬやう、少し遲いが今から用意してお正月か悠くり暮せるやうにすべし。

◎自治の精神

子爵　青木周藏

◎自治の起源　私は自治と云ふ事に付いては餘程以前から研究して、自治と云ふ字も私が作くつたかと思ひます、西洋に於ては西曆千八百年末既にゼルマン人種の間に行はれて居た、羅馬人種には是れがない、佛國等は到底將來も行はれないことゝ思ふ、東洋では日本が昔より自治の基はあつたと思ふ、紀元千百年頃英國に於ては此制度が著しく發達して、英國の憲法が實にこれが爲めに起つたのである

◎自ら政治す　自治の基は自分の事は自分て處理すると云ふことが其の根本である、國を治めるについても政府が爲すのみてはいけぬ、個人が各自に自己の事として自ら治めると云ふの考へにまて進まねばならぬ、而し此自らと云ふ意がよく知れぬ、子供ても始めは自他の區別が付かぬ、自ら稱して其名を呼ぶ間は獨立と云ふことを知らぬが、小供が私と云ふ言葉を發する瞬間に於て獨立と云ふ兆しが出來たのてある。

◎干渉の多き國　自治の精神が發達せぬ爲めに干渉とか制肘とか云ふことが日本位ゐ行はれる國は無い、凡そ人が事を爲すに當つて一度是てあると固く信じたならば何處までも其主義を貫徹させねばならぬ、英國ては一言「可」とか「否」とか云ふたならばそれに向つて一人も干渉者がないが、日本人は「可」と「否」との間がはつきりしない、それが則ち自治心の無い證據てある、自治心さへあれば獨立獨行の行爲が出來るが、其思想が無いから常に人の干渉を受ける次第てある、干渉は人より受けず自分て招くのてある。

◎日本の品行論　一身を修め、一家を修め、然る後ち一國を修めると云ふのが順序てあるから、身を修めることが必要てあるが、日本の所謂品行と云ふことは甚た範圍が狹い、只だ酒を飮むとか、色を漁るとか、噓言を吐くとか云ふことを以つて品行が惡いと云ふが、歐洲では人の前て頭の雲脂を搔くとさへ不品行となつて居て、頭のぎり〳〵から足の爪先まて人間の行爲をせぬと不品行と云はれる。

◎敎育されぬ足　其實例を申すならば、私の娘が獨乙の官中に仕へる舞踏の敎師から舞踏を習つて居つたことがあつたが、同じ習ふ中間の一人の娘の足つきが如何にも變則てあつた、敎師は是れに向つて其足は敎育された足てないと云ふたことがあつたが、足の踏み方の惡いてさへ不品行と云ふことになつて居る。

◎家を整へる　苟くも家が整はない時は一家の經濟が整はない、一家が整はないで一村が治まるものてはない、向ふ三軒兩隣の世話さへ出來ない、此向ふ三軒兩隣が則ち政治の始まりてあつて、此間が善く治まりさへすれば、一國が無事に治まる次第てある。

日比谷音樂堂眞景

短文作歌大募集

短文、作歌募集の事を創めてより諸姉が錦心繡腸をこゝに傾注して、投稿の數回一回より多きを重ぬるに至りしは、其の企ての徒爾ならざりし實證として、吾人同人の歡喜措く能はざるところ也

兎烏匆々として乙巳の歲まさに暮れなんとす、吾等は數日を出てずして、また新春の曙光に浴し、筆硯を淸め更ためて諸姉に見ゆるの榮を荷ふと共に、諸姉また益々奮つて本誌の爲めに吟懷を寄せらるゝことを惜み給はざるを期す

こゝに新春第一日の紙上を飾る可く大いに諸姉の投稿を歡迎せんとす、其の規定は左の如くにして、規定に缺ぐる所あるものは、遺憾ながら採錄せざるべければ、期日に遲れざるやう速かに投稿せられんとを祈る

一平和（短文）
十八字詰十五行以内、字體鮮明にして傍訓を施すべし

一新年の遊戲（短文）
新年の遊戲は歌加留多、追羽子以外にも高尙なるものあらん、諸姉の新案になる遊戲方法、十八字詰十五行以内に認むべし

一初日影（和歌）
一人三首以下、用紙は短册、半紙、葉書何にても宜し

一曙光（新體詩）
成るべく短きを尊ぶ、字體鮮明にして傍訓を附すべし

一締切期日　十二月廿日限

短文作歌大募集

電話番町五百二十番　本號には附錄として會員新宿停車場に兵士歡迎の光景を添ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎家庭主要の條件（如何にせば物が安く買はれるか）

農商務省農務局　惠登代麿

▲澤山に買ふ事　物を買ふには澤山に買ふと第一卸商から直接に買ふことが出來て小賣商の手を轉々經ぬから元價が安く且つ監督も充分に行はれるから新らしい毀損の少い物品が買受けられ分量も正確に得るの利益があります

▲現金で買ふ事　生活品は多く懸金で買ふ風習がありますが懸て買ふには商人の方に於ても危險と利息とを計算して賣るのでありますから自然物品が高くなる道理であります

▲組合を作れ　澤山に買へと云ふても不用のものを多く買ふ譯には往かぬ卸賣店から買へと云ふても個人同志の掛合では賣つて呉れぬ現金で買へと云ふても商人の方で斷はる場合もあり一々現金で僅かの物を買ふのは反つて手數のかゝる場合があるそこで組合を作ることが必要である

▲消費組合　我が農商務省に於ても奬勵して居る事柄は即ち消費組合の組織であるこれは中產以下の人の爲めに作くるのである今其方法の大略を話さんにこれを始めるには先づ以つて精神的に忠實に働くと云ふ人が必要である利益的事業でなく公益的事業であるから公共の爲めに働くの精神を以つて居る人を得ることが第一である

▲資本の提供　大工をするには大工道具が入用であり官吏となるには筆墨が入用であると同じく何をするにも多少の資本を出し合ふと云ふことが必要である其資本も僅かて一回一圓五十錢位ゐの拂込みて一株十五圓が限りであつて一人で十口以上は持たれぬことに定まつて居る

▲資本家となる　此組合員は知らぬ間に資本家となつて又配當金の分配を受ける仕組みて前に出した資本を集めて直接に卸賣店から卸値で日用の生活品を買ひ受けこれを組合員の要求に應じて分配するのであります

▲買物の價格　組合が澤山に買つた品物を別けるに二つの仕方がある其一は卸價を其儘にて別ける其時は組合の手數料を取る其二は市價と同一の價を以つて配り其間に普通の商人が得る丈の利益は積んで之を配當金として分配するのである其分配方も多く金を出した者には多く案分比例で與へる仕組みてある今日行はれて居るのは第二の方法が多い

▲買受主の出金法　日用品の買受主は物品の引取りと同時に現金支拂ひの義務を持つて居る組合の事務所で商人から現金て買つて居る或は商人の手より直ちに物品を送らする場合があるとしても其商人には金を拂はず切符を渡し現金を直接に事務所に拂ふの仕組みてある最も支拂ひの延期を許す場合もあるが此時は相當の利息を付けることになる

▲公共心の發達　此組合を起すと下等の人ても資本家と同じ位置の働らきを爲す事が出來るのみでなく組合員は公共心を以つて組合全體の利益を計るやうになり不支拂ひ等の時は組合全體の損害を來たす譯になるから自然自重心を高めることになります

▲此組合の沿革　千八百四十三年十一月の或る雪の降る晩に英國マンチエスターの市の近傍の安宿に十二人の機織職工が集まつてお互ひに物を安く買ふ工風をしやうと云ふので先づ一周間十二ペンス（二錢三毛餘）づゝ差出して資本を作る事に合意したが其座では誰も僅か十二ペンスの持合せが無かつたと云ふ程憐れであつた

▲大擴張　始めは茶と砂糖とを卸價で買入れて會員に分配する位ゐのことであつたが越へて千八百四十四年四月には此組合の基礎が愈々確くなり遂に今日では數百萬磅の純益あるロックデール組合が成立することになつた

▲組合の理想　最初は二十八人で僅か二十八磅の資本で始めたが其理想とする處は頗る遠大であつて組合は會員の財政社交家政等を改良するを目的とするので其方法として（一）日用品及び衣類の店を設くる事（二）家屋を新築し或は購入して會員の住居に充つる事（三）製造事業を始めて會員中職業なきものに仕事を與ふる事（四）會員の安全を謀らんため若干の土地を購入し職業を失ふか若くは賃銀の非常に少き者をして耕作に從事せしむる事（五）實力の範圍内に於て生產分配教育政治の諸機關を備ふる事以上が其大略であるが僅かの資本を出して彼樣の事を云ふと實に空言のやうであるが遂に之を盡く實行するやうになつたからえらい始めは十二ペンスしか出せなかつた職工が六十年後には毎年數百萬磅の利益を得る大事業の開祖になつた

▲生產事業　僅か二十年間程の間に此種の組合の數が倍へて組合の數が四百五十個にもなり資本金が四十五萬磅販賣の年額が二百三十五萬磅利益が十六萬六千磅に登つた事業としては卸賣をするのみでない遂には自から製造事業を始める事になつた又會員の爲めに長屋も建て始める方法さへ付いた

▲日本に於ける組合　東京市内には未だ完全なる此種の組合がない只衆議院の官吏仲間て實行されて居るのがやゝ見る可きものがある日本鐵道會社の有志者中に設けられて汽車の便利を利用して原產地から直接に物を買ふて分配する事になつて居るとのことてあるが未だ公然たる組織になつて居らぬ地方では肥料購買組合等があるが未だ〳〵幼稚である日本でも此組合を盛んならしむる爲めに明治三十三年三月に產業組合法と云ふものを發布し又三十四年十一月三十日の官報で消費組合の模範定款が示されて居るこれ等の法律に依つて設立する事となると七人以上の組合員さへあれば出來るが多數の組合員が出來る程便利である而し惡ひ人が這入つては組合は崩れるからよき人を撰んで入れるやうにせねばならぬ

▲組合の副事業　組合ですると便利な事は（一）長屋建築であるこれも家賃の高に應じて利益を分配する（二）銀行事業これは重に貯蓄銀行で日掛貯蓄を奬勵するのである（三）保險事業これは相互保險と云ふて會員相互に不時の災難を救ひ合ひ利益は互に分配する方法である（四）教育事業としては實業學校を起し通信圖書館を設け名士の講演會を開き組合員の親睦會を開き老幼男女の遊戯會を開ひたりするのが此業に於ける副利益である

◎十分談片

◎伯爵夫人樺山茂登子氏　今日の家庭は餘程衣服調度が奢つて來ました私の若い時代には薩摩がすりさへ着る事を許されませんて綿服を纏ふて居りましたが今日では僅かに百圓位ゐの月給を取る家の奥さん方でも流行を追ふて衣服を作る樣てありますが斯樣な事をして如何にして家庭の經濟が取れて往くか甚だ不思議に思ふ處てあります夫れから又私共は見聞を擴める爲め且つは身體の壯健を計るが爲めに善く旅行を致しましたが書生一人つれ身輕に旅裝ひ至つて平民的な旅行を致しましたが旅行の趣味は人に氣兼をせず隨意な處を跋涉するにありまして其方が又人情風俗等を觀察する上にも有効なかと思ひます今日の貴婦人方も少し平民的旅行をされたら面白いかと思ひます

◎評議員司法大臣夫人波多野爲子氏　私の住居は新宿停車場に近くありますから同所に於て凱旋兵士を迎へて居りますが死生の間に一生を得て凱旋するのでありますから皆生れ變ッて戻ッたかの樣に見へ其瘦て小黒き顏に銳き眼光を放ち犯す可からざる威嚴の中より溫良にして恭謙なる態度を保ち團體としては素より一人づゝ放して見ても日本人種中に得難き特點を持つて居らるゝやう見受けます殊に凱旋して始めて東京の地を踏むのですから其喜悦の狀況は私共歡迎するものまでが實に愉快に感ずる處であります我會の有志者より出されるお菓子一袋づゝ各兵士に差上げるのでありますが聊かなる贈物も兵士が無上に喜ばれて私共までも共に幸福を分ち享ける心地が致します

◎評議員陸軍中將夫人阪井春子氏　會員の統一を計る爲めには會の徽章を下げる事も必要でありますが會員の服裝を一定する事も又必要な事かと思ひます殊に是れからは軍隊の歡迎等種々公會の席に會務を以つて臨席する場合の如きは服裝を一見して本會の會員である事を知らしむる必要があるかと思ひます會員全體に行ふ事は到底出來ますまいが職員の人々には執行する事が出來るかと思ひます其制定す可き服裝については日本婦人の特色を失はぬやう優美にして且つ質素なる工風に致したらよかろふと思ひます

◎司法省事務官眞木喬氏　此節は婚禮をするのに非常に費用を掛ける風であるが婚禮の儀式は一生の大禮であるから素より嚴肅に行はなければならぬが派手を裝ふが爲に婚禮に關して多くの費用を費すと云ふ事は愚の至りと思ふ費用を多く掛けたが爲に夫婦の仲が圓滿になると云ふ次第でもなく儀式が嚴肅に執行される譯でもない元來今日婦人が家庭に於て權力の無い一大原因は金を持たぬからである金さへ持つて居ればよし夫れを自分に使用する事が出來ぬとしても餘程氣が強ひ故に婚禮の費用を節して嫁資として之を持參するがよろしいと思ふ若しも金を持參する嫁は貰はぬと云ふ話しになれば此費用は慈善事業に投ずるがよろしい今日葬儀の費を節して慈善事業に投ずるの美擧は往々行はれて居るが婚禮の費を投ずると云ふ事は未だない是を行へば社會の幸福を得ることが尠なくないであらうと思ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小說

逝く年

武田櫻桃

夜は更けて居るのであつた。勾配の急なだら／＼阪を降り切ると、其處は丁度鍵の手に折れるので、角が酒店、それから二軒目に汚ない駄菓子屋が一軒！

無論酒店は戸を閉めて、軒の洋燈がぼんやりと方四尺の地を照らして居るばかり、寂とした天地は只濕然した空氣に盈たされて、空には高く星の瞬き。

と、自分の耳を突いたのは、癇走つた、何處かに險のある聲で、

「餘りですて、そりやア御斷はり申さなかつたのは重々惡いんですけども何も、さう沒義道な事を被仰らなくつても！」

語尾は有繁に紊れてか、聞とれぬまで小さく細く切れ去つた。自分は二三歩急ぎ足に、駄菓子屋の前へ來ると、半分降りた揚戸から、薄暗い火影が映して、中には何か云ひ爭つて居る様子である。

「いかん！」

と鋭く云ひ放つた濁聲は、更に其の調子を昂めて、

「貴様の亭主が出征してから、もう一年の餘になるぢや、えゝかな、其間一文利子を入れもせいて、もう少し待ても餘り蟲がよすぎるぢやないか、これ、もう十日許りて今年も暮れるぢや、此處の店の物殘らず押へたかて五兩がものはない、元も子もない話ぢやが、それて負けてやらうと云ふのぢや、えゝか、百貫の抵當に編笠一蓋、諦めたがえゝぢやないかの」

自分は思つた。此の駄菓子屋の主人と云ふのは後備か何かて出征して、留守は其の若い女房、營業の補に借りた金が仇を爲して、今窮境に臨んて居るのだと。

「御尤もてございます、けれども只今と申しては、御覽の通りの仕末でございますから……」

「ちやから、譯らん女ぢやないか、其抵當に此處の物を持つて行かうと云ふのぢや、俺も此年をして、さう／＼沒義道は云ひたうない、無理な事云ふて他を苦しめるてもないが、家業ぢやによつて是非がないて、明日の朝下男を遣すてな」

黒い大きな影が障子へ映したかと思ふと引摺り落すやうに揚戸へ消へて、

「貴様俺を引とめて、什麽せうと云ふのかえ？」

聲は更に高く――鋭く、

「どうぞ、旦那様、二月までにはこの通り亭主も歸つて參るのでございますからお慈悲にそれまて！」

裂帛の響きとはそんな聲てあらうと思つた。自分はいつか揚戸近く立つて居たのであつた。

「何だ、二月まて、眞實を云ひなさい、眞實を！　これまて何遍其手を食はされたと思ふ、もう此處へ足を運ぶも今夜限りぢや、餓ゑ死ぬ？　餓ゑ死ねさ、自業自得と云ふものぢや！」

がらりとばかり障子を蹴開いて土間へ降りる男の陰に歔欷げて俯伏せに、櫛卷の根もほごれ、痛々しい女の姿。其借りたと云ふ金は若干てあらうか、憐れなる女よ、と自分は不圖手を懐中にしたのであつた。紙入に納めた二十圓、其金は今現に友に與へねばならぬ金てはあるが、この場合、其女が救ふてやりたい、同じは此處に逝く年の、友は自分を待たぬまでも、この金を得るは易からう、けれども女は！　今宵を待たぬ羽目である、救はう！

と意を決した。

て、揚戸の潜りへあはや手を懸けやうとした時に、自分はまた別の思に胸を突かれた。それは今自分が此金て女を救ふ、それは先づ可いとして、見も知らぬ他人から救はれて、女は何と思ふてあらう、一時はよし此金に救ふとも、いづれば女の苦みとならねばならぬ、殊には友に誓つた金、途中て愆うと明しても、友は自分を怨むてあらう、女の憐れは譯つて居る、けれども今此金て其女を救ふのは道てない、明日の朝早くても來て、何とか道をつけてやらう！

自分は再び元の道へ出た。潜りを衝と開けて、南へ黒い人影、それは今の高利貸てあつた。

＊　＊　＊　＊

懐中の二十圓、それは友を悲境に救ひ得て、翌る朝例の女を訪ふべく行つたが、揚戸は完く閉されて、斜めに讀まれる貸家の札、かくても春は來るのてあらうか！

（完）

◎看護美談

松浦政泰

●ペストと接吻　英國のシスター、ドーラ（一八七八年死）は病床の天女と綽名された、名高い熱心な看護婦であつた。或時ドーラを慕へる一貧民は黒死病に罹つて、一夕ドーラを召びによこした。行つて見ると、家の中には短い蠟燭が心細げに燈つて居る。隣の人を蠟燭を買ひにやつたが、一向歸つて來ない。頓て患者は急に飛び起きて、「もう死ぬるから接吻を一つ御頼みする」といつた。嗚呼夜は深うして、燈火は微かに、光景已に氣味惡げてあるに病人は世にも恐ろしいペストてある。けれどもドーラは毫も躊躇しない、直に其兩腕で病人を抱へ、接吻をした。すると燈火は消えてしまつて眞黑闇、まだ生きて居るか、死にはせぬか、それさへ分からぬ闇の中に、ドーラは病人を抱へたまゝ立つて居ると、夜はほの／＼と明け放れた。嗚呼並々の人間てあつて、斯る勇氣が出るてあらうか、實にドーラは天の使！

◉ドーラの腕　貧民が手足に負傷して切斷術を受けることは、ドーラに取り常に涙の種てあつた。一日器械の爲に腕を碎いた青年が來たが、醫師が無情にも切斷を宣告したので、落膽してしまつた。ドーラは同情に堪へかねて、暫し其腕を眺め、又其青年の體格の倔強なのを見てゐたが、徐に外科醫に向ひ、「私に此腕を預けて下さるまいか」といつた。醫者は尚も前說を固守して、切斷を猶豫せば生命の危いことを語つたれど、ドーラは是非此儘て試みたいといひ、青年も大に喜んてドーラの意に從ひたいといひ出した。醫師は怒て、「覺えて居なさい、これは汝の腕ですよ。汝の良心て此青年を殺すことを御撰になつたのですから、私は干涉しません、けれど私はどうなつても一切知りません」といつて、どし／＼出ていつた。大々責任は今やドーラの肩の上に懸つた、心配も心配も大心配だ。唯青年がドーラを信賴する事が、一つの慰藉である。三週の間、晝も夜も彼女は吾が腕ならぬ「吾が腕」を守つて居た。『此腕の爲に何のやうに祈つたよ』と、彼女は後に語つた。三週間經つと、前の醫を招いて、看護の結果の試驗を願ふた。嗚呼不思議といふも不思議、綳帶を取除けると、腕が伸びたよ――自由に動くよ。『嗚呼汝は此腕を救ふた』と、醫者が叫んだ時のドーラの喜は、何てあろうぞ。思はずあつと聲をあげたが、無理てあらうか。其後青年は常に「ドーラの腕」と之を名づけて大事に養生し、退院して會社に出るやうになり、ドーラに逢ふことが出來なくなつた時も、尚此思を忘れないて、紀念の腕を眺めては、生きたる人に言ふ如く無沙汰を詫びて止まなんだと。

◎兄弟の愛

一千八百四年英國の驍兵なるフォーシスと呼ぶ兄弟、エディンバラに於て數日間の休暇を得て故國に歸る途中、或る山路へ差かゝつたが白雪飛絮の如く降り來つて咫尺も辨ぜざるに至たり、寒氣嚴しく加つて弟は雪中に埋沒し、半死半生の窮境に陷つたのを、兄は己の疲れたるにも屈せず弟を背負ひ、風雪を冒して進んだが、如何せん險難相連らなる山中のこととて五體は氷の如く凍へ、遂に氣力を失してあはれや終に死亡した、斯くの如く兄は悲慘の最期を遂げたが弟は長らく兄の背上にありし爲め其暖氣に依つて再び生氣を回復し、終に危難を脫するを得た、嗚呼これぞ最も兄弟の愛の純粹にして且つ崇高なるものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

小兒の家庭教育（二）

ドクトル　川瀨元九郎

子供が客間や書齋などへ入り込んで大切な器物を玩び、これを破壞するやうなことが往々ある、監督者は子供が意外なことを仕出來したのを發見して、大いに驚いて考へる暇もなく「誰が斯んなことをしたのですか」とか「あらまア」とか云ふやうな語を發する、すると子供は其恐しい聲に驚かされて言語の出しやうがなくなる、又斯樣な場合には子供は多く惡いと云ふことを知らないのであるから。熱心に遊んで居る時に不意に怒りを含んだ聲を聞いて、始めて「あゝ吾は何にか惡いことをしたな」と思ひ、器物の破壞されたのを見て「あゝ是れは惡いことをした」と考へつくものである、ところが耳を裂くやうな怒聲で怖氣が付いて居るから返答が出來ない、さア一方では「何故こんなことをしましたか」「汝でしやう」と瞬時の猶豫も與へないで責めて來る、子供の方では一層恐ろしくなつて來るから遂に知らず〳〵「私は知りませぬ」「私てはありませぬ」と云ひたくなる、是れは無理のないことである。

斯樣な事は子供のある家庭では毎日出來することであるが、抑も客間や書齋其他子供の入るべからざる所は錠でも卸してあれば子供は強いて入るものではない、又た監督者は何故子供が入らんとした時に注意して是れを禁じなかつたか、して見れば子供の過失を來たしたに付ては監督者が其責任の半分を負はなければならぬ次第である、自分が半分の責任があるとすれば、子供を叱り飛ばす權利は無論ない譯である。

大切な器物が破壞されたのを發見しても先づ己が精神を打ち鎭めて、然る後に懇切に溫和なる調子で「あれ是れは何んでしやう」「何うなつたのでしやう」と云ふやうな工合で以つて、子供の精神を亂さないやうになさねばならぬ、子供に於ても穩かに云ひかけらるれば必ず何うして破壞するに至つたかを手柄でもしたやうに詳しく話すものである、是れが即ち子供から始末書を取る方法である、开處て懇ろに其器物は父又たは母が重寶である、夫れを破壞するに至つたのは實に遺憾であると陳べ、充分に今後の訓戒を加へる、茲に至つて子供は始めて自分の過失を悟る、さうして大いに父母に同情を表して、同時に罪を悔ひ、今後は父母の大切にするものには手を觸れないと決心するやうになる、斯くなせば子供に虛言を敢てせしむるやうなこともなく、將來の爲めにもなるのである、既に破壞したものは致方がない、何んなに子供を折檻したとて元の如くになる者のではない。

茲にまた親達は心得て居らねばならぬことがある、子供は一度や二度では何んでも忘れるものである、故に同じやうな過失を數囘重ねたからと云つて、忍耐の緒を切つてはいかぬ、同じやうな過失を重ねる度數の多少は監督者の注意如何にあるものである、故に再三反復しないやうに指導しなければならぬ、充分に敎へられたが不幸にして再三過失を重ね、其度毎に訓戒されて充分に腦裡に泌み込んだ曉には、決して再び忘れるものではない、故に親達は忍耐を以つて指導して遣らねばいかぬ、親の權威を揮ると子供の方では段々親から遠かつて行き、小言を受けるのが不愉快である爲めに虛言を以つて過失を隱くすやうになる、是れはちよッと些細なことのやうに思はれるが、極めて重大なることである、親達の心得如何に依つて惡い子供とも善き子供ともなるのである。

◎おんば日から傘

久津見蕨村

◎「おゝ寒い。此兒もさぞ寒からう。もつと着せなければ不可よ。ナニお襦袢にお綿入に袖無ばかりだとへ。そんなことて此寒さが凌がれるものですか。もつと被せなければ成ない。もう二枚もお綿入を被せて、そうして其のそれ厚い袢纏でおんぶに限ります。ア、さうとも〳〵、大人の私でさへ寒いものを可愛さうに小さな此身體ですものを。』

◎かう云ふ言葉はいづくでも昨今の朝寒の折に能く聞くことです。そして斯う云ふ言を云ふ人は大方皆な祖母さんかそれでなければ年を老つた母親さんです。其孫を思ひ子を想ふ心は誠に嬉しい優しい心に違ゐないです。

◎けれども之れが反て子供の爲にならんことがあります。成る程寒い朝は暖かくしてやるのは當然ですが、衣類を被せるにも度のあるものです。夫に子供は身長は小さくとも體溫は反て高いものです。夫を低い體溫を持つて、動ともすると寒くて困る年を老つた祖母や母親さんの身に引比べるのは間違つてをります。

◎生れ付き極薄弱な兒は格別ですが、健康の兒ならば成るべく薄着の習慣をつけるが宜しい。寒からう、冷たからうで無暗に着込むのは宜しくないです。之れは反て其兒を弱くする原因になるのです。

◎西洋の育兒の敎の中に「綿にくるんで兒を育ては不可」と謂ふのがある。日本では『老婆兒は三百安い』と謂ひます。之は此寒からう、冷たからうの慈悲心から出た弊を申したものです。

◎然るに今日でも、兎角『おんば日から傘』で荒い風にも當てないやうにして兒を育てる人があるやうです。寒からう、冷たからうの慈愛心は必ずしも惡くはないがそれを行ひ過ぎると、綿にくるんで兒を育てることになる。遂に老婆兒は三百安くて、大人になつた曉にも、意志薄弱な下らない人物になつて仕舞ふです。

◎ですから如何な御大家でも、第一無駄な厚着を廢めなさい。おんば日から傘主義を全廢して、荒い風にも當てるが宜しい。薄着て育てゝピウ〳〵吹く風の中に出ても風も引かないピクともしないと云ふ大丈夫な兒にしなければ不可です。

◎お姬さままでも若さまでも、矢張り百姓や漁師の兒と同じ子供です。此方が堅い鐵で彼方が軟かな鉛だと定まつた譯てはありません。いづれも強い鋼鐵のやうな人になれる子供なのですが、野風、潮風て鍊へると、おんば日から傘て甘やかすとの違いて、遂に鐵と鉛との別が出來るのです。

◎家庭と建築

家庭と建築雜誌主幹建築請負業　田中綱吉

◎主婦と家屋　家と主婦とは最も關係が密接なものでありまして、家屋の事は主婦たるものが最もよく心得て居らねばならぬ筈でありますが、日本の婦人には建築と云ふ思想が皆無でありまして、私共が建築を請負ひます時でも、主婦の考按になる處は一つもありません、主婦の居間は素より臺所と云ひ、子供部屋と云ひ、各々自分に直接の關係ある處でありますから、自分が働くに都合のよいやうに作り、工事の監督位ゐは出來るやうでなくてはならぬかと思ひます。

◎室內の掃除　西洋館などを建てられても、日本の婦人には掃除の仕方が知れて居りませんから、掃除が甚た不充分てあります、假令ば一室の掃除は何處から始めるのが順序であるか、拭くがよいか、掃くがよいか、天井裏の掃除から板の間の掃除に至るまで、夫れ〳〵順序方法が整然としてあつて、其拭く用具にさへ種類がありますが、日本の婦人は一切其邊の心懸けがありませんから掃いた爲めに美術の置物を毀損したり、濡れ雜巾で拭いた爲めに金物に銷を出したりして西洋室を使用する用意が不充分であります。

◎家屋と衞生　家屋と衞生は又密接のものでありまして、是等も主婦たるものが最も注意を拂はねばならぬ處であります家の向き方窓の明け方、間取りの取り方、便所のつけ方等一々其法に叶はねば、家庭には病人が絕へぬとになります。

◎臺所の構造　臺所は主婦の働く可き戰場でありますから、主婦の働きに都合の宜敷き樣作らねばなりません、此處を建てる時は棚の作り所から、水の流し工合等一々主婦の意見に依つて定めるやう進歩せねばならぬと思ひます。

◎泰西婦女訓

◎漠然として何等の意義なく紳士淑女の宅を訪問するは貴重なる時間の盜賊なり
◎モンターグ女史曰く禮儀に慣なし然れども是を以て總ての物を買ふ事を得可し
◎心して些の小事と雖も輕んずるなかれこれを累積すれば軈ては人生の全體なり
◎吾が人生を完全ならしめんと欲ずれば宜しく有功的に一日を消費せざる可らず
◎旅行に際して感ずる不便に耐ふる人は家に在りても同じく不便に耐ふるの人也
◎成功家の多數は其家庭に於て成功したる人也是れ善良なる妻を娶りし結果なり
◎婦人は社會の審判官にして道義禮式流行等の問題は總て婦人に依りて解決さる
◎記臆せよ精神の奧底より輝く婦人の光明は一生を通じて磨滅消散する事なきを

勅進歌募集

勅題　新年川

右明年の宮中歌御會始めの勅題なるが我が會員より詠進せらるゝ方は一人一首を限り本發行所に來る廿五日迄に送られたし發行所は之を正式に淨書して其筋に奉る都合を計る可し若し我が會員にして撰歌の榮を賜はるが如き事あらば獨り其會員の面目のみならず我會の名譽とする處なれば奮て御寄稿あらん事を希望す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◎理事顧問會　十二月中に於ける理事顧問會日取りは左の如し

十二月六日（第一水曜日午後二時）

◎評議員會日取　十二月中の評議員會例會は第四水曜日開催の處年末の爲め之れを操上げ左の日取を以て開催す

十二月十三日（第二水曜日午後二時）

◎沖繩支部總會　沖繩支部に於ては來る十七日を以て總會を開催することに決したるが尙侯爵夫人の金三百圓を始めとして續々寄附の申込みあり又當日來會者へは會長揮毫の扇子を贈與する由なり

◎皇太子殿下奉迎　皇太子殿下伊勢大廟御參拜去月三十日御還啓あらせられたるにつき本會評議員伯爵夫人板垣絹子、男爵夫人高木富子、中山幸子、中井兼子、關邸子、仁杉歌子、東京支部幹事堀內ゑん子、宇津木ひろ子、桑原朝子の諸氏は新橋停車場に御奉迎申し上げたり

◎二條理事の出張　群馬支部總會開催につき理事公爵夫人二條治子氏は總裁宮妃殿下御名代として評議員男爵夫人黑木百子、同高木鍈子、同山脇房子の三氏と共に去月二十六日仝地に出張せられ即日一行と共に歸京せられたり

◎奧村刀自一行　石川支部遊說の爲め同縣へ出張中の奧村五百子刀自一行は能登國の遊說を了へ四五日以前加賀國へ向かはれたり

◎奧村刀自の書翰　目下石川支部下遊說中なる奧村刀自は此程仝縣鹿島郡中島村なる麥稈眞田編、養蠶、編物等の事業を視察し其の成蹟の勝れたるものあるを嘆賞して當發行所へ宛て左の書翰を寄せられたり

石川支部鹿島郡中島村には今地方愛國婦人會員一致協力して本會の爲め麥稈眞田養蠶編物等の事業を起し既に此程會員打寄りて麥の種蒔を致したる由に候が總ての事業が眞に精神的に經營せられつゝあり實に日本婦人の摸範と稱するも過言にあらずと認定致候云々

◎寄附金披露　其後拾圓以上の寄附金者左の如し

一金五百參拾五圓　東京橫濱外國人會　東京總代ルードルフ、レーマン
一金百八拾圓　在牛莊　小林三平
一金百五拾圓　清國牛莊　李俊
一金百五拾圓　同　李貴
一金五拾六圓　在牛莊　ダブリュー、エッチ、ブリル
一金五拾圓宛　在牛莊　瀨川淺之進　在牛莊　森廣造
同　依田治作　同　松山增男
同　平岡佳吉　同　加藤定吉
同　島內義雄　同　神野良
同　飯塚松太郞　同　粕谷忠兵衞
同　齋藤富三郞　同　片山卯三郞
同　井上源吉　同　黑澤禮吉
同　福崎春見　同　三谷末次郞
同　靑木キヌ　同　宮下トミ
同　寺川マツ
一金拾圓宛　在牛莊　佐藤竹治　滋賀　正田千代
一金七拾壹圓余　獨乙　ウヰルヘルム、フアスト
一金貳拾參圓余　同　ヱヌ、ヱヌ
一金貳拾參圓余　同　ヱス、ヱヌ

◎群馬支部總會

群馬支部總會は去月二十六日前橋市東照祠畔に於て開催せられたり正午幹事部職員、會員一同、佩有功章者を始め招待員たる廢兵並軍人遺族、來賓衆議院議員、將校、司法官、縣會議員等無慮五千餘名式場に參着するや吉見支部長開會の旨を告げ次に總裁殿下御名代公爵夫人二條治子氏御諭旨を朗讀し次に支部長吉見悅子氏左の答辭を朗讀したり

愛國婦人會群馬支部第一回總會を開くにあたり
總裁殿下御名代二條公爵夫人の御臨場を辱ふしいと優渥なる御諭旨を賜はりたるは洵に當支部の光榮にこそ
抑も當支部今日の盛運を觀るに至りしは偏に
總裁殿下御盛德の致す所にして悅子等感激の至りに堪へず自今ますゝゝ勉めに力め勵みにはげみて會務の擴張を圖り
總裁殿下の御諭旨に報い奉らんことを期す
茲に謹みて答辭を奉るになん

明治三十八年十一月二十六日

愛國婦人會群馬支部長　吉見悅子

次で御名代より功勞者五十八名に有功章御授與あり了りて廢兵及び軍人遺族へ特別賜金御授與の事あり次ぎに津金主事會務並に會計の報告をなし次ぎに顧問吉見知事稻葉前橋市長江原縣會議長の祝詞朗讀ありて閉會を告げ御名代一行は臨江閣に入られ洋食の饗應あり席上二條氏より爾後ますゝゝ各員の盡力を望む旨の談話あり謹嚴靜肅に散會したり、又當日は全市悉く軒頭に國旗を揭げ球燈を吊して此盛典を祝し餘興として群馬古代の獅子舞を始め太神樂音樂隊蓄音器等あり煙花は朝よりかけて夜に至るまで間斷なく打揚げられ非常の盛會を極めたりき、尙ほ吉見顧問の祝辭は左の如し

爰に本日をトして愛國婦人會群馬支部第一回總會を開くに方り總裁殿下の御名代として二條公爵夫人の御臨場を辱ふし優渥なる令旨を賜ふ當支部の光榮何者か之に加へん惟ふに當支部は明治三十四年十月の創設にして年を閱すること僅に五星霜に過ぎずと雖も博愛なる諸姉爭ふて贊同し喜びて加盟し現今に於ける會員總數は實に一萬二千有餘名の多きに達し會務益發達せんとす洵に國家の爲め慶祝に勝へざるなり抑も當支部今日の盛况を呈するに至りし所以のものは固より
總裁殿下の御盛德と會長公爵夫人の御指導其宜きを得たるとに職由すと雖も而も亦熱誠なる當支部職員諸氏の勤勞と博愛慈善なる會員諸姉の誠實なる贊同とに依るにあらざれば詎ぞ能く茲に至るを得んや而して客歲二月日露干戈を交へ本會の事業益煩雜を加ふるに方りてや諸姉克く愛國の至情を發揮し或は出征將士の慰問に或は軍隊の送迎に或は遺族家族の慰籍に或は戰死者の會葬に銳意努力至らざるなし其勞實に多とするに足れり然れども本會の目的たる事業は之を以て未だ完成したるにあらず益之か發展を期せざる可らず今や前古無比の戰捷を奏し平和方に克復を告げ帝國の威武萬邦に發揚したりと雖も願くば此光輝ある戰爭に於て忠勇なる陸海軍人の身命を拋ちて國家の犧牲に供したる者實に數萬の多きに出てたり其廢兵及び遺族の慘狀果して奈何ぞや嗚呼我戰勝國の婦人たる者須らく滿腹の同情を寄せて以て之等廢兵及び遺族救護の實を擧ぐるに努力せざる可らず然らば則ち諸姉の責務や彌益重大なりと云ふべし諸姉庶幾は本日の光榮を記憶し自今一層銳意奮勵會務の擴張を圖り
總裁殿下の令旨に副い奉らんことを期すべし聊か蕪辭を述べて以て斯の盛典を祝すと云爾

愛國婦人會群馬支部顧問　吉見　輝

◎各地支部狀況

◎靜岡支部　同支部會員有志者の經營にかゝる豫備病院靜岡分院內の娛樂室以樂館落成式は此程擧行せられたるが本館を以樂館と命名したるは詩經に由るものなりと當日は一般傷病兵に茶菓を饗し入院中の俘虜將校及び兵卒にも亦分與したるに彼等の喜び譬ふるにものなかりしと尙ほ餘興には手品、講談、蓄音器等ありたり而して同館の工事概要を記せば八月卅一日陸軍大臣の許可あり九月六日起工、工事建坪十八坪四合、工費六百八圓餘、工事は橋爪技師之れを監督したり又た志太郡にては第一回幹事會を此程開會したるが其申合せ規則左の如し

一會員は質素を旨とし衣服の如き成るべく綿服を用ゐ華奢の風を矯正すること
一會員は平素儉約を爲し其餘裕は之を慈善の資に充て且つ一家の經濟に注意する事
一戰死及准戰死者の遺族及負傷の爲め癈人となりたるものゝ救護者を調査する事
一軍人遺族の內寡婦にして克く節操を守り一家の經營に任し又老幼者にして特に家業を勵み一家を維持する篤行者を調査すること
一戰死及准戰死者の遺族及負傷の爲め癈人となりたるものゝ慰藉を爲すこと
一女子の教育に關する講話を請ひ互に談話を爲す事
一停車場附近の會員は互に勸誘し便宜の場所に於て軍人を歡迎すること
一軍人葬儀若くは招魂祭等ある時は其町村內會員は互に勸誘し會合すること

◎京都支部　去月廿五日東郷大將一行京都に着されし時は職員及會員有志者停車場に迎へて大に歡迎の意を表し左の祝辭を大將及艦隊司令長官に贈呈せり

さきの日（聯合艦隊司令長官東郷平八郎）の君凱旋したまふにあたり都鄙の人に貴賤老若をいはず歡迎の聲天地にどよみわたりぬこたび泉山御陵參拜のついで京都へ立寄りたまへるを機としてわが愛國婦人會京都支部會員らも幸にして其勇偉の風彩をあふぐことを得たるはこよなき面目にして其よろこび限りなし抑も君か未曾有の大功を奏し給ひかしこくも天皇陛下の御稜威を萬國に耀かし皇國千古の基をかため給ひしは今更言擧せんもおろかなりしかのみならず君が慈愛の深厚なる此役に戰死せし人々の靈魂も遺憾なかるべければ遺族も皆其恩を感謝してよろこびむかへざるはなしわが支部會員はこゝに萬歲を三唱すると共に其德を頌しつゝしみて一言を呈し奉るになむ

明治三十八年十一月二十五日

愛國婦人會京都支部長　大森齡子

◎岡山支部　同支部會員が軍隊輸送につき盡力せし廉につき停車場司令官より此程左の謝狀を會長宛にて送り來れり

貴會岡山支部會員は昨年三月開戰以來千古未曾有の大輸送遂行するや當驛通過軍隊及傷病兵を熱心に歡迎送され殊に食事湯茶給仕の斡旋又患者に對しては懇切に看病せらるゝ等注意周到盡力さるゝ事二十有餘月の久しきに涉るも終始一貫能く其美擧を盡さる其勤勞や實に多大なり之れが爲め軍隊及傷病兵士は自後當給養場も又大なる利便を得且つ兵士を慰藉する尠少ならず之れ固より會員諸子の熱誠に因ると雖ども亦會長の指導宜しきに因らずんばあらず依て茲に深く感謝す尙今や平和は克復し凱旋の輸送開始せらるゝも輸送業務の部程は未だ一半を餘せるを以て願くは將來も復た往日の勞を再び執られて以て軍隊輸送に便益を與へられん事を

岡山停車場司令官　森野秀次郎

◎東京支部　同支部內各區幹事部に於ける慈善演藝會は既報の如く何れも好成績を擧げつゝあり去月二十六日より三日間芝公園內彌生館に於ける芝區幹事部の演藝會の如き三日ともに滿場立錐の餘地なきまでの入場ありたり、又た日本橋區幹事部にては去る二日より三日間明治座に於て開催したるが時藏、猿升、女寅一座の芝居、芳村伊十郞、杵屋六左衞門等の長唄幷に藝妓の元祿踊り等ありて是れまた非常の盛會なりき

◎島根支部　安濃郡川合村に於ては會員小集會を去月十八日金子男爵邸に開く來賓は金子男爵福間ハル子佐々木高木の兩委員にして出席會員は特別會員八名通常會員廿五名會場は正面に總裁閑院宮妃殿下の眞影並に大婚二十五年拜領品東宮殿下御婚儀拜領品を奉戴し午後二時同會幹事金子男爵夫人開會の挨拶あり會員藏田ノツ子の會員募集に就ての演說次に來賓福間ハル子金子男爵の本會に就て有益なる演說あり會員何れも本會の博愛なる趣旨に感動し午後八時閉會せり同日は會員一般同家邸內の植物園を縱覽し尙同家より來會者一同へ茶菓及晩餐の饗應あり非常なる盛會なりき尙能義郡廣瀨町に於ては會員集會を同十八日町役場樓上に於て開會參集者約四百人、山本能義郡幹事部顧問の紹介により松永島根支部顧問は創立以來の狀況及將來に於ける支部事業擴張の方法並に會員募集に關し詳細に演說する所あり次に佐藤縣事務官より廢兵に關する悲哀なる狀況を報じ以て婦人會員の同情を求めたり同十時過散會せり當夜の參集者は能義郡幹事部長愛國婦人會員、同委員、事務員、學校女教員、有志婦人、町村長、安來警察署長、郡書記等なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◎石川支部遊說日誌（二）

奥村五百子刀自一行

●十一月十一日　午前中來訪者續々あり午後一時より仝町因念寺に於て開會聽衆約一千餘名栗山幹事部長開會の趣旨を陳べ他は前日と異ならず閉會を告げしは午后三時半なりき、歸宿の上旅裝を整へ仝時三十分仝港出帆の第二能登丸に乘じ小木へ向ひたり此日は風雨激しかりしも乘船時間の短き爲め奥村刀自も御無異にて御着あり波止場には植田郡長を始め役員有志小學校生徒出迎はれたり一行は石岡旅館に投ず來訪者多數あり

●十一月十二日　此日は講話會なきを以て空しく旅舍に閉居する筈なりしも幸ひ天氣快晴の爲め郡長村長等の催しにて九十九灣の絕景を賞することに決し午前十時頃より小木港を出て灣內を一週して午后二時歸宿したり

●十一月十三日　午后一時より法融寺に於て開會聽衆約一千餘名柚田顧問開會の趣旨を陳べ他の例に依て自分等講話し三時半閉會、一度歸宿の上四時旅舍を出て端艇にて九十九村へ上陸此所より腕車を驅りて松波村へ向ひ仝六時半差松岡寺に投ず、同行者は一行の外に郡長幹事部長事務員の四名あり松岡寺住職母堂は非常に本會の爲めに盡力されし由にて會員も小村に比して多數なり

●十一月十四日　午前は例に依り來訪者續々あり當日の講話會は前日來の降雨晴れず殊に風さへ吹き荒びければ來會者如何を氣遣ひしに聽衆は定刻前より續々來集し千三百餘名の多きに達せり午后二時より開會例に依り郡長開會の辭を陳べ長男爵母堂の挨拶に續き奥村刀自并に自分講話をなし仝四時半閉會し直ちに腕車にて飯田町に向ふ、同行者は郡長以下數名六時半着森下旅舍へ投ず、珠洲郡幹事十數名郊端まで出迎はれたり

●十一月十五日　午前より乘光寺に到り幹事と共に撮影仝所に於て晝飯を共にし午后三時半より講話順序は例の如し聽衆千二百名餘滿堂殆ど立錐の餘地なかりき仝五時閉會す

●十一月十六日　午前六時三十分飯田町出發役員波止場まで見送られ一行は春日丸にて十一時十分七尾に着、幹事數名郡長幹事部長と共に出迎はれ一旅舍に入りて晝餐を喫し此所にて珠洲郡長と袂を分ち幹事部長事務員は和倉まで同行せられ午后二時半仝所を出て丹羽郡長仝幹事等同行和倉へ着、和歌山旅店へ着したるは仝四時過ぎなりき（高橋鳳雲子記）

●清國人の寄附　前號に記載したる營口在住清國人の寄附金壹萬百五拾貳圓の內譯は左の如し

一銀三百元宛
忠[illegible]駿　李序園　高廷檢　陳永綿　葉[illegible]增　潘[illegible]球　楊文炳

一銀百五十元宛
陳鳴澤　玉期李　美茂臣　許寶枚　陳玉[illegible]　葉玉[illegible]　陳長[illegible]

一銀五十元宛
濟于敖五　閻泉三　寧馨遠　韓仲屏　劉中岳　田爾李　所星垣　許蔭階　許鳳翔　鄭所廷　趙學齊　潘克仁　鄭蘭如　王敬欣
楊九經　沈華李　周培賓　范宜之　陳華堂　葛香圃　李光謙　張桐門　張千明　阮景星　劉滋齊　張謙[illegible]　呂經武　陳學[illegible]
張潤李　寧儀田　許錫臣　金[illegible][illegible]　林爻淸　王星九　鄭竹勳　金伯芳　蘇秀山　李卯堂　呂愼李　韓子安　宋朝[illegible]

一銀參拾五元宛
曲東棠　王維卿　史九齡　郝儀臣　王鳳橋　劉景三　趙賓林

一銀參拾元宛
劉彤圃　寶樹藩　朱鳳翔　陳子循　[illegible]錫堂
李興基　千[illegible][illegible]　李[illegible]川　泰學新　王仁堂
陳玉書　孔明達　山現田　張九升　[illegible]勝心

一銀貳拾五元宛
劉大[illegible]　呂春亭　張作楨　歐慶齡
趙敬亭　徐瑞五　鄒刀[illegible]
孫煥章　姚爾田　張嵐泉

一銀貳拾元宛
李厥星　高育光　閻毅華　齊貴中　姚磁甫　高獻廷　楊郅會　曲[illegible]堂　安立堂　孫[illegible][illegible]　曲會[illegible]　楊宰[illegible]　千光淸　韓蘭[illegible]　高[illegible][illegible]　葛叔文　王俊三　宋春芳　段[illegible]李　范仍千　劉翠達　吳[illegible]龍　劉科甲
徐[illegible][illegible]　史中立　鄭[illegible]一　實文田　柳參[illegible]　朱京川　崔[illegible]山　玉紹萬　白永[illegible]　金集堂　劉樹堂　于蓬東　艾桂林　李鴻[illegible]　遲子興　張瑞大　鄒升三　吳子[illegible]　由文炳　張長[illegible]　楊德清　高[illegible][illegible]　林[illegible]李
孫履之　李子銘　王[illegible]圃　朱[illegible]均　胡[illegible]　王[illegible]積　張紹曾　李[illegible]發　林[illegible]　[illegible]　冷顯[illegible]　李旭府　宋于廷　遇尊外　金少三　楊价三　張岩人　鄭普[illegible]　李中賓　李林[illegible]　王鴻[illegible]　丁仙芝　寶香閣　崔[illegible]錄

一銀拾五元宛
李心田　崔現臣　唐子安　韓華李　王廷佐　王廷[illegible]　程[illegible]庭　杜[illegible]泉　趙汝[illegible]　張玉之　陸[illegible][illegible]　劉成[illegible]　楊錫[illegible]　侯永濟　杜錫山　王廷英　李信[illegible]
宋萬青　[illegible][illegible]李　王[illegible]區　段[illegible]達　陳元[illegible]　劉心三　田芳[illegible]　劉金光　馬紹[illegible]　劉玉宜　[illegible]子事　宋子[illegible]　李君[illegible]　王子[illegible]　王振堂　于益李　劉[illegible]晶
楊[illegible]林　魏元[illegible]　劉[illegible]臣　[illegible]任[illegible]　劉[illegible]仁　陳永[illegible]　張友[illegible]　孟叔[illegible]　沈發[illegible]　常任[illegible]　楊子厚　曲子[illegible]　劉和李　王實泉　王宗文　王文[illegible]　王[illegible]堂

一銀拾元宛
李普達　楊[illegible][illegible]　徐[illegible]堂　張[illegible]登　李文[illegible]　張永[illegible]　王鳳[illegible]　李[illegible]五　林[illegible]東　劉啓先　劉開[illegible]　張書升
于[illegible]區　宋春[illegible]　李[illegible]佐　司瓦李　陶[illegible]堂　姚[illegible][illegible]　周渐泉　周春川　方實勤　陳矢[illegible]　王[illegible][illegible]　葛[illegible]竹
許[illegible]鶚　王紹式　陶慶[illegible]　張[illegible]軒　楊[illegible]明　趙子周　張子[illegible]　劉子[illegible]　王天太　王連[illegible]　吳[illegible]林　劉[illegible]泉
朱[illegible]軒　張竹牧　成桂勤　王聞生　葛[illegible]晶　王[illegible]區　[illegible][illegible]防　[illegible][illegible]信　李[illegible]李　[illegible]郎[illegible]　劉[illegible]山　張[illegible]海　郭[illegible]晶　趙[illegible]三　李[illegible]李　侯[illegible]田　李[illegible]武　[illegible][illegible][illegible]　寧[illegible]民　楊[illegible]南　[illegible][illegible]　許[illegible]圖　孫[illegible]堂
姜[illegible][illegible]　張寶絶　王子[illegible]　萬[illegible]旗　寧[illegible]圖　乘[illegible]一　賀士[illegible]　曲[illegible]　[illegible][illegible]　[illegible][illegible]　[illegible][illegible]　[illegible][illegible]　[illegible][illegible]　[illegible][illegible]　[illegible][illegible]　[illegible][illegible]　[illegible][illegible]　[illegible][illegible]　[illegible][illegible]　[illegible][illegible]　[illegible][illegible]　李[illegible]文
[illegible]宗山　姜[illegible]堂　孫[illegible]堂　[illegible]承[illegible]　[illegible]淩[illegible]　王[illegible][illegible]　[illegible]名堂　杜玉山　劉金[illegible]　[illegible]得[illegible]　[illegible]中[illegible]　[illegible]普[illegible]　[illegible]永山　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　王[illegible][illegible]　劉[illegible]中　[illegible][illegible]軒　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible]區　[illegible][illegible]武　李樹林
鄭[illegible]李　王[illegible]春　高永瓦　葛樹芬　李純[illegible]　[illegible]子[illegible]　千[illegible]生　遇作[illegible]　李[illegible]然　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]
周士納　孟[illegible]經　徐厚田　[illegible]石[illegible]　孫[illegible]三　[illegible]偉[illegible]　張[illegible][illegible]　劉永濟　王[illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]
王敏李　王子[illegible]　王[illegible]賀　[illegible][illegible]辟　[illegible][illegible]山　陳本枝　[illegible][illegible]五　李[illegible]峰　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]　[illegible][illegible][illegible]

一銀八元より壹元までの寄付者　胡官堂以下百五十名

愛國婦人會々員數及比較表（明治三十八年十月壹日調）

支部名	特別會員	通常會員	合計	前月ヨリ増加會員	賛助員	女子人口百人ニ對スル一人
山口	八一五	二六、五一四	二七、三二九	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石川	一、三八二	一五、八〇五	一七、一八七	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山形	七九七	一六、六〇八	一七、四〇五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岡山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
熊本	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京都	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
富山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
愛知	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
兵庫	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
香川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
青森	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大分	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北海道	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
群馬	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高知	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神奈川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩手	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滋賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福井	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
奈良	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
愛媛	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
徳島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
廣島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
佐賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千葉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
茨城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
島根	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和歌山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鳥取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山梨	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
秋田	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
埼玉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沖繩	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
靜岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岐阜	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長野	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新潟	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栃木	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
函館	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
台灣	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海外	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	四七、九二七	三九五、八三二	四四三、七五九	一二、〇六八	[illegible]	[illegible]

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

史傳

贈位されたる慶光院の三尼

三浦千畝

神風の伊勢の國度會郡、皇太神宮（內宮）の宮域にはほど近き中之切といふ所に、昔、慶光院と稱する尼寺ありき。（今は神宮祭主宮殿下の官舍となれるが、この建物は、天正年中豐臣秀頼が、片桐且元を奉行として創立せしものなりと聞えて、書院廊廡等、輪奐その美を盡せり）この寺院は禪家の尼寺なれども、（神風行囊抄には眞言宗とあれど誤ならん）他の寺院と違ひて佛堂鐘鉦の設なく、本寺何派と云ふ事もなく、宮家の息女代々住職して、女流ながらも世々上人の位に進み、伊勢上人と稱して、直に傳奏を經て紫衣を着せり。

抑も伊勢皇大神宮は、他の神社と大にその趣を異にして、かの佛教隆盛の昔時と雖も、宮域近くには、寺院を建て僧尼を住ましめなどすること絕てあらざりしを、獨り慶光院のみは神宮近くその地を占め、そればかりかは、代々の遷宮にさへかゝづらひて、頗る他に異なる特權を有せしぞめづらしき、さてもかゝる寺院を創建せし開山は、そもいかなる名僧智識ぞ。この寺院の由緣はいかに。

明治三十八年十一月、聖天子伊勢に行幸して、捷を大廟に告げ、大に報本反始の禮を擧げさせ給へり。この千歲稀遇の大典に際し、畏くも功勞赤誠雲の上に聞えて位記を贈られ、幣帛を賜はり、聖恩枯骨に及べるもの數人ありしぞ難有き。その光榮、その名譽、いづれ愚はなけれども、就中、慶光院清順、同守悅、同周養の三女流の贈位の御沙汰こそは、わけて難有く、うれしく、且つは珍しけれ。蓋し清順は慶光院三世、守悅は同二世、周養は同四世にして、即ち慶光院といふ特種の尼寺は、この三代の尼上人により、神域近くも出來たるなりけり。

史を按ずるに、女流にして贈位せられしもの、女御更衣のさるやんごとなきおん方々、さては皇室の外戚につらなれる權門勢家の身分にありては、敢て珍らしとにはあらねど、さにはあらで、唯におのが功績勤勞によりて贈位の恩典に與りし女流、古來果して幾人かありし、余の記憶する所にては、古くは和氣清麻呂公の姉廣虫が、淳和天皇の天長二年に正三位の告身を贈られしと、近くは野村望東尼が、明治廿四年に正五位を贈られしと、古今にわたりてこれ等一二の女流あるのみ。あはれかくも例すくなき名譽の數に入り、無量の聖恩に浴し、後世女子の鑑ともなりたる慶光院三尼の傳記、未だこれを聞かぬ人もやあらんかとて、いさゝか余の寡聞を記さん。

▲贈從三位清順上人

上人は、伊勢國慶光院第三世（舊跡聞書、五鈴遺響等には開山とあり）にして、第二世守悅上人の弟子なり。もと紀州の人。（檜垣貞次話記には紀伊熊野の入鹿といふ所の勸進比丘尼なりしと記せり。この說據あるに似たり。又舊跡聞書、每事問、勢陽俚諺等には尾張の人とあれど今採らず）後奈良天皇の天文年中、守悅上人の後を繼ぎて慶光院に住せり。世に伊勢上人、又遷宮上人と稱す。蓋し女流にして上人號を賜りしもの此人に始まるといへり。（守悅上人の時は未だ上人號を許されざりしならん）いてや遷宮上人と世に呼ばれし所以を記さん。

當時戰亂の世とて、六十餘州いづこの里も、只箭叫びの聲のみ高く、血腥き風のみ吹き荒びて、あはれそのかみ倭姬命が、弓矢鞆の音の聞えぬ國と、國ほぎ定め給ひし神の都、內外の宮居近き邊さへ、動もすれば兵火起り、物騷しく、御裳濯川の淸き流は萬古變らねど、こを渡るべき橋も絕え、詣づる人もなく、されば廿一年每に必ず造替正遷宮の式を行はるべき古來の重き掟も、いつしか神の御垣と共に破れて、百有餘の長き年月、絕えて遷宮の儀式も行はれず、造營の沙汰さへなければ、千木の片そぎ雨に朽ちて、內外の區別も分かず、萱の八重葺風にそゝぎて、引結べる葛目もうち綏びたる式微の有樣、畏くもまたうたてし。

清順上人親しくこの狀態を見奉りて、いかで形ばかりの造替も營み奉らんと、日夜心に掛るものから、いかにせんかゝる大業の、能く一人の力にて果すべきにもあらねば、いざや師守悅上人が、前に神橋を架け替へられし方法に倣ひて、廣く諸國に勸進してこそと、いしくも心に思ひ定めて、先づ勸進の力によりて、久しく朽絕えたりし宇治の神橋を架し、更に造替遷宮の事を神主久志本常辰をして內宮の長官に申入れ、諸國勸進の廳宣を乞ひぬ。古來僧尼禁斷の制やかましかりし神宮を、しかも僧尼の手にて造營せんこと、固より大非例のことなれば容易に許さず。よりて更にこれを外宮の長官に申入れしに、これまた種々評定ありて「往古より、如此の事は天下の御沙汰也。僧尼の取立らるべき事、神非例を受けず。然るべからず」との理由にて許容なし、上人これを聞きていたく憤り、造替遷宮は、今の天下にては、取行はるべきこと不定なるものを、よしや非例にもあれ、などてこのまゝにはえやむべき、神慮に負き神罰を蒙るとも、そはおのれ一人これを受けんのみと、いよ〳〵心を決して、更に上人の詔刀師なる足代常與を賴みて、復び內宮の長官に懇請し、時勢のやむべからざるを說きぬ。上人のこの不退の熱誠をば、神も受納し給ひけん、漸く內宮長官の同意を得、外宮にても、既に內宮にて許すうへはとて、いよ〳〵上人の力を賴むことゝ評議決定して、やがて綸旨を仰ぎ、將軍家の上意をも請け、廳宣を發して、これを上人に附しぬ。即ち上人この廳宣等を帶して、兵馬道路を塞ぎ盜賊山野に充つるその間を、東奔西走、具に櫛風沐雨の艱苦を嘗めて、諸國を勸進すること數年、精神の到る所何事か成らざらん、神明いかでか嘉納せざるべき、諸國よりの奉加思の外に多く、淨財豐に集りたれば、やがて立歸りて、永祿六年といふに、目出度く外宮の正遷宮を果しぬ。

されど猶ほ、おのれのみこの功に居るを好まず。又かゝる異例を後世に遺すも神慮いかゞとや思ひけん、前に廳宣のことを取りもちし足代常與が催す所として、これを公裁に注進せり。

あはれ纎弱なる女流の身を以て、この大業を果したるさへ類稀なるに、自らその功に居らず、これを他人に讓る心のけ高さ、うるはしさ、いかに尊き所爲なるよ。

▲贈正四位守悅上人

上人は、實に淸順上人の師尼にして慶光院の開山なり。（また二世ともいふ）後土御門天皇の文明年中に、紀州より來りて伊勢に住す。されど何處の人なるかは詳ならず。（檜垣貞次話記に、上人の弟子なる淸順上人を、熊野入鹿の勸進比丘尼に記せれば、この上人も熊野の勸進比丘尼にてやありけん）當時兵亂久しく打續きて、掛卷もあやに畏き、伊勢の內外の宮柱も、雨に朽ち風に傾きて、荒廢すでに百餘年、宇治の神橋は早く朽絕えて、御裳濯川を渡るべきすべもなし、上人いたく嘆きて、せめてはこの神橋をだにも架け渡して、詣づる人の便にせんものと、やがて諸國を勸進して、形の如くその功を畢んぬ。この事畏くも雲の上に聞えて、深く叡感ありしとぞ傳へし。

想ふに、淸順上人が、後年造替遷宮の大願を發したるも、必ずやその師なるこの上人の遺志を續ぎ、その業に倣ひたるのなるや疑ふべからず。さらば上人のと功して世にあらはれたるは、唯神橋の架替に過ぎざれども、その精神は、やがて弟子なる清順上人を憤起せしめ、遷宮の大事業を果させたるものにしあれば、清順上人の大功も、その半ばこの上人に歸せざるべからず。

▲贈正四位周養上人

上人は、慶光院四世の住尼にして、（亦二世ともいへり）三世淸順上人の弟子なり。元龜三年の綸旨には伊勢國の住人と見えたれども、その生國は詳ならず。或は近江の淺井家の比丘尼なりといへり。（遠碧軒記に、伊勢へ淺井家の比丘尼來りて、內外の間に住す。禪淨土を執行す。此時後奈良院の時也。亂後故に廿一年目の遷宮のならぬを見て、近江一國を勸進して、淺井家の光にて、二十一年目の遷宮をとぐ、因て遷宮上人と云ふ。淺井家故に、淀殿も念比也、此よし由緒にて、秀吉公へも出頭して、內外宮のとりつぎをして知行七百石被下、台德院殿秀忠の御臺所も淺井にて淀殿妹故に、又時にあへり。此弟子代々社司の山本氏よりつぐ云々と見えたり。何世の上人とは正しく指さゞれども、その時代より推當て考ふれば、こは疑もなく、四世周養上人の事なるべし）この上人、守悅淸順二上人の遺志を繼ぎ、先業を承けて、造替遷宮の式を擧ぐること三度、神橋を架すること一度、即ち最初の遷宮は、天正三年の內宮假遷宮にして、元龜三年より綸旨を以て諸國を勸進し、次は天正十三年の內外正遷宮にして、これは天正十一年に綸旨を請けて勸進を始め、猶ほこの時には神橋をも架けたり。其次は慶長十四年の內外正遷宮にして、これは慶長八年に德川氏の朱印を請く、勤勞實に此の如くなれば、大に皇家武家の信用を得て、後陽成天皇よりは慶光院の勅額を賜り、代々の內外遷宮には、必ずその造營の事を執行ふべきことを定めらる。（但し寬文九年の正遷宮の時にこれを改めたり）功勞此の如くなれば、世の人いよいよ伊勢上人、また遷宮上人と呼び稱へてその名をいはざるに至れり。（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷

◉皇后宮伊勢行啓　皇后陛下には來春若くは初夏のころ神宮御參拜の爲め伊勢行啓仰出さるゝ筈にて目下夫々御内議中なりと承る　皇后陛下の親しく神宮御參拜あらせらるゝは開闢以來初めての御盛儀なりと

◉國母陛下と米國大統領　我帝國の勃興は外人の以て歴史上の奇跡なりとまで稱する處なるが米國大統領ルーズヴエルト氏も此事に關して深く思を潛めて研探し居りし結果全く欝勃たる武士的精神が國民の胸底に遍滿し居るに基くことに想到し遂に日本の健全なる家庭こそ其光榮の源泉にして家庭の女王たるべき婦人は亦國民元氣の泉源なるべきにより女子教育こそ教育中の最も考慮を要すべき要件なれとの結論に達し此旨意を敷演して大に米國教育界に警告する所ありしが氏は更に今回之を一冊子とし公刊せしに就き此頃歸朝せる某氏に依頼し右一部を我國母陛下に奉呈したりと云ふ

雜報

◉門司少將の凱旋　遼陽沙河黑溝台の諸戰を經て奉天の戰ひに敵の背後に迂回して砲十六門を有せる優勢なる旅團を破りて感狀を授けられ部下の二十聯隊は敵の名譽聯隊旗を分捕りて旅團の名譽を輝やかしたる元愛國婦人會主事陸軍少將門司和太郎氏の統率する後備混成第十旅團は去月二十七日午後姫路に凱旋せり

◉貴婦人の觀楓會　去月二十一日霞ケ關岩倉子爵邸に於て淺草婦人法話會の觀楓會を開催したるが來會者の重なる者は九條世嗣夫人惠子、伯爵夫人酒井夏子、子爵夫人堤賢子、同牧野カツ子、子爵母堂小笠原マス子、子爵夫人石川マサ子、同曾我夫人、三井男爵夫人、中島男爵夫人、安田、跡見、伊澤、中山、岩佐等を初めて三十餘名の貴婦人にしてなかく\に盛會なりしが取り別け九條世嗣夫人が老たる來會者に被布などを着せるやら案内をさるゝやら斡旋役は殆んど此夫人の一手專賣とも云ふべき程なりしには一同も感じ合ひ且つ大に喜びし處なりしと因に交際場裡の花たる此夫人は家庭に於ては質素を旨とし常に四人の子女を撫育しながら夫たる公爵世嗣及自己の衣服などの洗濯は婢女等の手を煩はさずといふ

◉大日本女學會　同會にては去月廿八日午後三時より麹町區永田町鍋島侯爵邸に於て　皇后陛下より御下賜の御歌披露を兼て十周年の紀念會を開きたり當日は生憎の雨天なりしも同會名譽總裁伏見宮妃殿下御臨場あらせられたり式場には來賓並に會員三百五十餘名男子は左方に女子は右方に着席し君ケ代の奏樂終りて後鍋島侯爵夫人の挨拶あり斯くて同夫人は　皇后陛下御下賜の

花になれ實をも結べといつくしみ
　おほしたつらん大和なてしこ

の御歌を三唱し終つて妃殿下より御令旨を賜はり次に特別會員總代として鳩山春子氏は本會の斯く隆盛を極むるは總裁宮殿下の御庇護と會長鍋島侯爵夫人の盡力に依るものなりと深謝し會員に對して將來の注意を與へ、講師總代三輪田眞佐子及び會員總代石塚千登世氏等の祝辭あり會歌を奏し是れにて式を終り一同を食堂に案内し茶菓、麥酒、汁粉等の饗應あり一同歡を盡して散會したるは午後四時三十分なかく\に盛會なりき

◉女子音樂園開園式　松山鎰子刀自の創立にかゝる麹町區下二番町の女子音樂園にては去月十九日開園式を擧行せり

◉女學校新設　麹町區元實踐女學校跡へ新たに目下麹町女學校の建築中なるが校主は大森理學士校長は岩淵理學士にして學監は小川直子氏なりと

◉家事專修女學校　麻布區三河臺町なる同校に於ては今回和洋服裁縫の科目を增加し專ら速成を旨として教授し殊にミシン使用法は其道に熟練なる與會井市藏氏懇切に教授し割烹科は石井泰次郎市川茂子の二氏擔任教授する由

◉受驗豫備科開設　別項女子高等師範學校に於て私費家事專修科生を募集するに付き神田區三崎町の大成學館にては來る一月より是れが受驗豫備科を開設する由

◉女子體育奬勵音樂會　同會は去月二十五日神田橋外和強學堂に於て開催せり

◉家政學校の昨今　牛込區江戸川端なる同校にては專ら家政裁縫に重きを置き禮式、割烹等實用の科目あり現在生徒は百二十餘名にして漸次增加しつゝありと

◉米大學の女教員招聘　今回米國聖路易市女子大學校より造花日本刺繡等に熟練せる女教員を招聘したき旨其筋へ請求し來りたるを以て華族女學校學監下田歌子女史の管理せる實踐女學校の女教員二名を選定して其求めに應ずることに決し近日出發せしむると云ふ

◉女高師の私費生　女子高等師範學校にては今回同校私費生家事專修科を設け修業年限を三ヶ年とし官公立高等女學校卒業生及び之れと同等の學力を有し滿十七歲以上三十歲未滿にて夫を有せざるもの三十名を募集する由

◉女學生と圖書館　某教育家の調査する所に依れば上野、大橋、一ツ橋の三圖書館を通じて女學生の入館するもの一日平均五六人に過ぎずと云ふ而して其の借覽する書籍は多く和文教科書なりと

◉女學校と寄宿料　都下に於ける女學校生徒寄宿料を聞くに立教女學校は食料五圓五十錢に舍費共六圓五十錢、共立女子職業學校は舍費共七圓、日本女學校は食料六圓、舍費一圓、實踐女學校は食料五圓五十錢、舍費一圓六十錢、女子英學塾は食料六圓、舍費一圓五十錢、興風女學校は食料五圓五十錢、舍費一圓五十錢、跡見女學校は食料六圓五十錢、舍費一圓、東京裁縫女學校は食料六圓、舍費五十錢にして都下の各女學校の寄宿料は概して七圓内外なり尤も高等女子佛英和學校の洋食一ヶ月十五圓、女子語學校の同十二圓の如きは例外なりと

◉家庭と宗教　東洋女學校にては宗教と家庭に關し生徒に試問せしに其結果左の答案を得たりと云ふ聊か以て今の社會の信仰を窺ふに足らんか

佛壇のみある家二十四、神棚のみある家三、兩方ある家三十八、共になき家五

◉東京市内の女醫　明治十七年萩野ぎん子等の建議により開業を許可されし以來今日に至るまで百數十名の女醫を出せしが内東京市内に開業しつゝある者左の如し

井上友子（麹町區上二番町山本達雄方）
市川田鶴子（深川洲崎辨天町）
本田せむ子（駒場農科大學官舍）
岡見けい子（角筈衛生園）
小川とし子（淺草象潟町）
大八木幸子（日本橋濱町）
鷲山彌生子（麹町飯田町）
賀川哲子（日本橋濱町）
加賀見のぶ子（深川古市場町）
河野桃野子（駿河臺東洋内科醫院内）
吉田けん子（銀座三丁目）
高橋瑞子（日本橋元大工町）
高田もと子（日本橋區藥研堀）
高橋孝子（日本橋區本町）
中村愛子（駿河臺東洋内科醫院内）
丸茂むれ子（下谷仲徒士町）
前田國子（牛込北山伏町）
天田鶴子（京橋南藥研堀）
三上つる子（東京豫備病院本院）
三谷しげ子（内幸町三島醫院）
篠田せい子（本郷丸山新町）

◉牧野清子氏の苦學　今回紐育コーネル普通大學を卒業して歸朝したる牧野清子氏（二十八）の苦學談を聞くに同氏は立教女學校の卒業生にして七八年前僅かの旅費を調へて米國紐育に遊學したるが當時日本に於て豫想せしとは大いに反し紐育に於て一時非常に窮乏せしかば糊口の爲め止むなく紙を綟り居りしが或日試みに之れにて犬を作りしに端なくも其犬が某貴婦人の氣に入りて遂に學資を仰ぎ得るに至りしなりと紙綟の犬と十年の學資實に立志編中の好題目ならずや

◉東京產婆學校卒業生　小林ノク子（二十）は今回韓國京城にて產婆開業の爲め此程單身渡韓したり

◉育兒會慈善演藝會　婦人共立育兒會にては去る一日より五日間歌舞伎座に於て慈善演藝會を開催したるが近來罕れに見るの盛會なりし

◉幼兒保育所に就て　京橋區築地本願寺境内に設けありし出征軍人幼兒保育所は永遠に繼續すべき事となし門内右側に六十五坪の建物を造り百名の幼兒を收容し保姆五名を附する計畫を立てたるが同建物は本年中に落成の見込みなりと

◉婦人雜誌記者俱樂部例會　同會は來る九日本郷區東竹町東京裁縫女學校内に於て開催の筈あり

◉ドーメーフートの名譽　日本橋區馬喰町一丁目中村封筒部の新案になるドーメーフートは木版數度刷の繪畫ある美麗のものなるが此程　兩陛下　兩殿下に獻上したるに受領の御沙汰ありたりと云ふ名譽のことなる哉

家庭こよみ（十二月）

▲六日●愛國婦人會理事顧問會▲八日●お事始め二月と同じ▲十日●大宮町氷川神社年の市關東一の大市にて繁昌驚く可し▲十三日●煤拂の神事湯島天神淺草觀音、王子權現、目黑不動等にて行ふ▲愛國婦人會評議員會▲十四日●深川八幡年の市今明兩日にて市中年の市の魁なり俗に品調市ともいふ▲十七日●淺草觀音年の市今明兩日なり▲十九日●淺草觀音簑市境内にて簑を賣る近在の農民來りて求むる者多し▲二十日●神田明神年の市今明兩日なり▲廿二日●冬至雜煮餅を食する家あり東京市中の湯屋にて今明兩日柚湯を沸す▲廿三日●芝愛宕年の市今明兩日▲廿五日●麹町平河天神、湯島天神年の市▲廿八日●藥研堀不動年の市▲三十日●京橋年の市今明兩日▲卅一日●除夜零時を合圖に各寺院にて百八の鐘を撞く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

短文披露

題「故郷」

▲歸雁一聲　東京　岡田春子

哀れ懷しきは故郷、戀しきは我家なりけり、慈愛深き父母の君、扨は親しきはらからと袂を連ねて、春は山に花を尋ね、夏は小川に凉しき風をもとめ、秋の月見、冬の夜のまとゐ、四季折々につけて一家團欒の樂しみは、例へん方もなかりしを、今は唯一人離れて都にあり、學の業怠るとにはあらねど遲れ勝なる身の、いつかは綾錦身にまとゐつゝ故郷の父母に見えて變らぬみ顏を拜しまつる事を得んや、

嘆きみ親の恋を思ひいでゝは冬の夜の寒さも打忘れつ、思はず窓引きあけて故郷の空打見やる折しも、さやかなる月にうかれて歸りゆく雁の一つら、なれも懷しき故郷にやゆくらんと、いと羨ましうてなん。

▲選者曰　老熟の筆、敬服

▲譽れの花　廣島　横川千賀子

友垣の物學ばんとて西に東に行くに羨しさ限なく、父上に願ひ母上に乞ひて、さて志す地に來て見れば、早其夕べより思出さるゝは故山の俤にて、ともすればなつかしさ堪へ難う、待詫し其年の休暇、歸省の用意整ふ中にも懷かしき岡の邊り森の影、かたみに浮び出てゝ、軈て我里の山川見え初むれば、其嬉しさたとしへなく、斯てぞ住馴し地の尊さ身にしまれぬる、思起す、此度の戰に將士等が遙けき異郷に春秋を送り迎へ、今日の凱旋に譽の花を家苞に歸り來給ふ心の中や如何に、死てますらをが盡せし心の色を染出し、紅葉の此處彼處、故郷の地に迎顏なる、いかに樂かるらん。

▲選者曰　凱旋の將士と紅葉の配合美しき哉

▲手植の松　東京　岡田柳子

憂きにつけ、嬉しきにつけ、思ひ出てらるゝは、我故郷我垂根乳の、み許なりけり、噫三歳の昔、門出の折、植ゑし小松は、如何に丈高う、なりぬらむ、梅の花ならねど、主人なしとも、必ずや緑深う、なりぬらむ、そが榮ゆく色を、打見つゝ、暫しは、なれと思ひて、慰めばや、幾千代かへぬ、松の操に習ひもて、一筋に學びの道を、勉めよやと、宜ひし母君の、み言葉よ、いと身にしみて、つゆ忘るゝ間とてはなし、噫母君よ、今如何にか、おはすらむと、遙に故郷の空、打見やる折柄、十六夜の月影、ほのかに、さし出てぬ、哀れ月、三笠の山にと、眺められし折、如何に故郷戀しうや、おはしけむと、我身の上にも、思ひあはされてなん。

▲選者曰　氣品の高き、松の操に比す可し

▲鐵血宰相　靜岡　伊藤みち子

故郷はたらちねの父母ゐます國、とほつおやの墳墓地、其山川我を養成し、其風景我を感化す、故郷は第二の我父母なり、いかで戀しからざらん、いかで懷かしからざらん、鐵血宰相は其學窓にありける頃、故郷を思ふ念甚だ熾にして、歸心常に矢の如くなりきと、故郷を愛する眞情こそ、凝りてはやがて忠君愛國の心とはなれ、宜なる哉ビスマルク公の其國を愛し、其君を敬する心の深厚なりしこと、われ不敏もとより公に比すべきにあらず、しかも故郷を愛するの念は敢て公に劣らず、いでや德を修め、業を勵みて、身に着つる錦を故郷にかざらばや。

▲選者曰　生氣充滿

▲春日秋夜　山梨　小尾玉代子

懷かしきは故郷なる哉、三とせの春秋を他郷に送りて今し故郷に歸り來れば、門の柳庭の松さへ我を迎ふるか如くいと嬉し、したはしの母君、我をばいつくしみ給ひし祖父祖母の君には、此の村上なる岡の上に長しへの眠につき給ひ、手を連れて共に遊ひし友は皆其よすが定まりぬと聞けど、長閑なる春の日に蕨摘みつゝ遊びし野邊も、夏の夕月に對して吹き來る風に暑さ拂ひし川も、はれ渡る秋の日落栗拾ひ茸狩せし山も、皆昔の友ならさるはなし、嗚呼懷かしの故郷よ。

▲選者曰　故郷の山川は第二の父母也。

▲金甌無缺　岡山　中西倉子

故郷を思ふ情はわれひと共に變らぬことにて、東西の別あるべくもあらず、されば何處の國人も皆我が故郷の美を說かざるはなく、一たび郷關を出づれば堪へがたき望郷の念にうたるといへり、誠にもろきは人の情なり、そも郷を愛する念はやがて國を愛する心なり、國を愛する心はやがて我が金甌無缺の國體を千古に傳ふべき道なり、一郷に人たり一國に民たるもの、その郷國を慕ふ情を進めて更にその郷國を愛するの情を盛にせざる可かざるなり。

▲選者曰　男性的文字

▲背戸の畑　群馬　伏島たき子

木枯寒き昨日今日、御變りもなう候よし嬉しう存じ候、去にし二十七日は無き母君の御命日とて、例の如く庭の茶山花折りとりて御靈前に手向け候ひしも、今年は御許在まされねばや、苔むせる墳墓いと一しほ淋しう、云ひしらぬ思ひに袖しぼり候、さて背戸畑にまきおき候大根、山東白菜共に生ひ立ち候まゝ、聖芋甘藷とりそへ、よき折にまかせ漬物のしろにもとほこりがたく／＼參らせ候、いかで心づくしの程御風味下されなほ御入用に候はゞ、使の者御つかはしあれ、まづは右まてかしこ。

▲選者曰　故郷より賓物受けた人の心地や如何

作歌披露

題「初雪」

○東京　長盥錠子
むらしくれしつかになりてての朝け
梢にかろく雪そつもれる

○靜岡　伊藤みち子
をすあけてみそなはすらし大庭の
今朝めつらしき雪の景色を

○北海道　西　久子
東路のもみちかりもといそくまに
はつ雪はてふゑその山風

○愛知　山田　靜子
うなゐらかふれよ／＼とさわくまに
はや晴れたりな今朝の初雪

○群馬　伏島たき子
さむけさもわすれて手らはさけひけり
はつ雪ふりぬみゆきふりぬと

○愛知　平松いと子
こからしの風もいつしかしつまりて
梢まはらにつもるはつ雪

○大阪　富永　才子
みやこにも初雪ふりぬこのあさけ
こしの山路をおもひこそやれ

○東京　岡田　春子
朝戸あくる手のつめたさを忘るまて
うらめつらしき庭のはつ雪

○東京　岡田　柳子
今しはしきえすもあれなおもふとち
つとふて見まし今朝の初雪

○茨城　綿引　馨子
木からしにふきのこされしはゝそ葉の
梢おもしろくふれる雪かな

○岩手　芦澤ゆき子
つもるかと見るまほとなくとけそめて
かたちも見えぬ今朝のはつ雪

○山梨　小尾玉代子
はつ雪のふりしは名のみこの朝け
庭のちりをもうつみはてれは

○埼玉　山崎　邑子
さえくれし夜半のあらしのあとゝめて
わら屋をかさる今朝のはつ雪

○鳥取　近藤しづ子
朝戸出に四方の山邊を見わたせは
かのこまたらに雪ぞふりける

○山形　大谷　菊江
ちりのこる一葉ふたはのもみち葉に
つもりもあへぬ今朝のはつ雪

○長野　高橋きよ子
こしの山ましろに見えてこの里も
さゝの葉しろくはつ雪のふる

○大坂　下岡　松枝
一しほになかめますらん初雪に
みどりいろそふ庭の松が枝

○山形　阿部きゐ子
おこたりてきよめぬ庭も今朝みれば
たゝ白妙となりしやさしさ

◉第十七回作歌募集

△歌題　浦千鳥　△選者　某公爵夫人　△作歌一人一題三首以下　△期限十二月十日限り　△優等の作歌は本紙上に披露す可し

◉第十回短文募集

△題　歳晩　文體隨意　△選者　編輯局同人　△一行十八字詰十五行以下楽書に認めたるものは採らず　△期限　十二月十日限り　△優等の作は本紙上に披露す可し

▲地方の讀者に告ぐ▼

前々號の紙上には前金きれの人には帶封に「盡」の一字を朱印し相送り候處早速に御送金を恭うし難有奉存候然るに尚二三御送金なき方も有之是等の方に前々號告の如く斷然發送を見合せ可申かと存候得共數年來愛讀せらるゝ方にて取扱者は御芳名を記憶する程に相成り編者も今更友人と別かるゝが如き心地致し候由申出候につき本年一ぱいは其儘發送をつゞけ候へ共明年よりは不仕拂の方には斷然發送をやめ候につき「盡」の字を御認めの方は至急に前金御送り被下度候

新案カルタ形家計簿

愛國婦人發行所特製　一冊[illegible]

◉家計簿の作り方はなるべく簡單にして手間取れず且つ正確に落なく記帳の出來る仕組の者で無くては役立ちませんが本簿は此に注意し簡便なものに作りました◉家計簿には往々記帳落が出來て困るものでありますが朝に拂つた金も夕には忘れて仕舞ひ勘定合ふて錢足らずと云ふことになりますが本簿はこの憂がありません◉家計簿に日々の出納を記載すると云ふ事は極めて面倒な事柄でありますが併これは是非共記帳せねばなりません本簿は此面倒な事の無いやうに致しました◉家計簿には西洋簿記式と日本簿記式とがありますが簿記式は最早古くなりました捨てられて仕舞ひそれに代るが此カルタ形であります本簿は最も嶄新なものであります◉此家計簿は座を郵便葉書形にいたしまして表に朱線の罫を引き月日費目支拂額の四欄を設け金錢の支拂ある度毎に備考の記帳の出來るやうにしてあります◉容易に此家計簿に依つて得らるゝ利益は種々ありますが便利なる爲に時間が省かれ支拂が正確に且つ間違なく載せる事が出來ます從つて家計をして裕かに營む事が出來ます◉此家計簿は最も廉價に出來て居りまして何處へ注文されても此價では出來ぬと云ふ程な仕組みにして居りますそれは何故であるかは本簿を一覽すれば知れます◉此家計簿は發行所が數年來會員より寄稿せられた家計の現況報告により其他家計の現況を視察し研究した結果より産み出したるもので最も完全な者と思ひます

好評　第四版出來

婦人の慰問使

一部　拾錢　郵便金不要

奧村刀自は滿州よりして歸朝されましたが皆樣方に一々面會して御話しなさる譯けに參りません滿洲軍慰問の狀況は此書に詳かに書てあります各縣の支部中には幹事方に配る爲めに多數買込まれた處もあります　發行所

東京九段坂下公園内
愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

コクカツーショール

特約販賣店

大阪市東區瓦町四丁目
服部富三郎
特電話東七〇二

大阪市東區淡路町四丁目
吉阪元次郎
特電話東一三六二

本品は天鵞織地裏製にして最も優美高尚の品に有之候
本品は丸形。平形（鵜・オシドリ）羽根付の三種有之候
本品には一々如上圖商標を付し候間御買取の節は御注意被遊度候

本品は全國到る處洋毛織物店。西洋雜貨店。洋小間物店等總てショール（肩掛）類を取扱居候店には陳列致し有之候間御最寄にて御高覽の榮を賜り度候

東京市日本橋區本町二丁目
中喜ネル店
特電話本局七五〇

大阪市東區心齋橋筋安土町四丁目
中喜支店
特電話東一七九〇

東京製絨株式會社
日本フランネル製造株式會社
島田毛織物製造所
品川毛織株式會社
製品特約販賣店

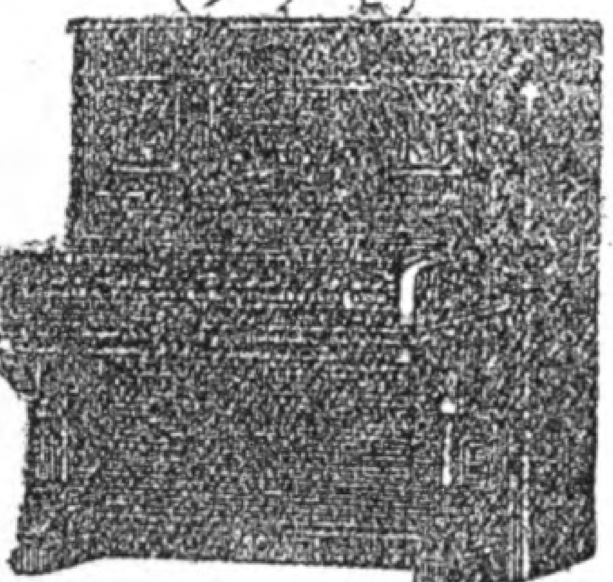
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

各國帝室及ヒ王家御用

ミルクフウド

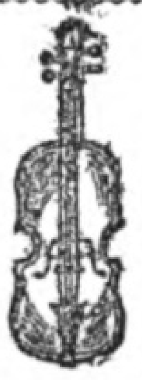
歐洲諸國及本邦名醫ノ證辭ヲ辱フセル者ナリ
小兒、病者又平素不消化ニ苦ム者ニ過當ナル最良滋養食物ナリ
最モ盛カンニ藥舗洋酒食料品店ニ於テ販賣ス

洋琴（ピアノ）



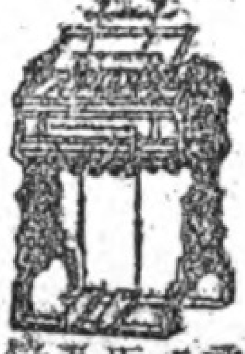
西川製
一號　金三百五十圓
二號　金四百圓
三號　金四百五十圓
舶來　金三百五十圓以上各種

無師獨奏　紙膣琴

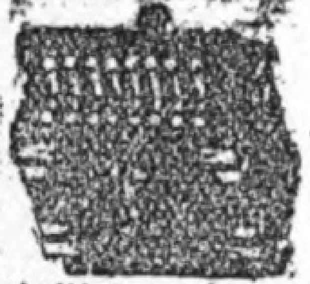


バイオリン外附屬品一式
舶來金貳拾六圓以上金八十圓迄和製金五圓以上十九圓五十錢迄各種
●本器は習はずして誰人にも自由に奏曲し得らるゝ美妙の音樂器大形金十五圓金九圓七十五錢小形金五圓
配用曲譜式百五十有餘種

日本元祖



音律正確　西川風琴
正價金十八圓以上二百五十圓迄各種●郵券二錢にて詳細目錄進呈
●歐米各國舞踏大觀●瓜生繁子編進行曲●山田唱歌集●新教育唱歌●新大捷軍歌



舶來手風琴
金三圓三十錢以上金十八圓迄各種

陽琴

●金一圓廿錢金二圓●金三圓

樂器書籍　東京銀座三丁目　十字屋　電話新橋一二五九

帝國大學醫院
日本赤十字病院
各公私立病院
醫師處方調劑
神田區今川小路三丁目角
東京郵便局指定調劑所
尾澤純良堂
藥劑師
大西橋三藥局
電話本局一千五百十八番

世界のしんぶん

◉不婚稅　といふ不思議の稅あり、獨逸國ヘッセ洲にては男子にして年頭になりても結婚せざるものに結婚せる人の拂ふべき稅の二割五分程餘計に拂ふの義務ありといふ

◉馬の安價なる國　は北亞弗利加のモロッコ國なりといふ全國にてはマガドー市にて馬競賣を開きたるに一頭の馬は僅かに一圓余にて落札せりとぞ

◉童子なき市　北米ニユージヤジー州にあり、仝洲マークスボロ市にては五ケ年間一人出産届を出せしものなく仝市中一個の搖籃もなく乳母車もなしと

◉結婚期　は國々によりて異なるものなるが、フランスには男子十八歲女子十六歲、スペインにては男子十五歲、女子十二歲、スイス國も仝樣、オーストリヤは男女共十四歲に達すれば結婚する事を許さるゝ定なりと、然るにトルコ國にては確かに步行の出來且つ宗敎上の儀式を解すれば充分なりといふ

◉英國水晶宮　は多人數を入るゝ事は世界第一なりと仝建物には一時に十万人の人を容るゝに足るの場處ありといふ

◉高貴の婚禮服　土耳古皇帝の娘が仝國貴族に嫁したる時着用せし禮服は其價九万圓餘なりしといふ仝體に眞珠を以て飾られありて宮中の御抱へ裁縫師是を作り其仕事中は一人の士官と二人の兵卒嚴重に警戒し居りたりといふ

◉高價の歷史　英國陸軍省にて編纂中の南亞戰爭史は其編纂を終る時は頗る高價のものとなるべしといふ仝書は既に三年餘かゝりて未だ何年かゝるかも不知との事なり然るに仝書の爲めに每年八万六千圓づゝ費しつゝありといふ大したものならずや

◉錢の入らぬ國　は大西洋中にあるアッセンシヨン島なり此島は英國海軍の所有地にて私有地なき故地代も入らず、稅もない一大尉の支配の下にあり羊や牛も公有物にて肉は頭割の定額を受る事となりあり野菜類も仝樣にて仝く金錢の必用なしといふ面白き處もあればあるものかな

◉鳥卵の蒐集　英國サウスケンシントンの博物館の鳥卵は他に競爭者なき程の多數を有せる由なるが先頃サウンダースなる人の寄贈によりて一層多くなりといふ此の人の集めたるものが一個人としては英國第一のものなりしと、其數一万にて此に以前集りたるものを加て殆んど十万に及ぶといふ

◉妙な結婚　此程或る英國の登記處にパナマ帽子を破りたる身裝よき老紳士入り來り已れの年は七十五歲にて漸く十七歲に達したる女子との結婚を登記したり其式濟みたる後其老人の子にして五十歲の男子に本年六十八歲の婦人と結婚せり此兩夫婦は仝時に其役處を出て用意しありたる自動車に乘りて他に赴きたりといふ物數寄の人もあるものかな

◉各國兵士比格　佛國軍人は行軍に化粧道具とお白粉を携へる、英國の陸兵は贅澤天下一なり、米國の兵は日傭ひ勞働者と同しく、伊太利は怠惰者の集りなり、獨り日本兵のみは海陸共に一の缺點なく萬國無比なり

◉世界三大寄習　歐米婦人のコルセット支那婦人の纏足日本婦人の廣帶これを世界婦人の三大寄習とす其中最も害少きは日本婦人の帶とす支那婦人の纏足は奇形不具の製造なり

特許●第五回博覽會褒賞賜

○湯屋溫泉用釜◎料理店理髪店用湯風呂◎豆腐箱

同機罐式据風呂

◎定價表御入用の方は郵券二錢御送付あれ

製造販賣元
神田區和泉橋通松永町十八番地　名和支店
日本橋區蠣殼町二丁目十五番地　名和商店　電話浪花千百七十七番

玉善油

二十世紀ノ新衣裳

發賣本舗　玉川屋

登録商標

[illegible]

佐竹組本舗

[illegible]

定價表ハ御申越次第直ニ呈送仕候

東京本郷

かねやす
電話下谷一三三六

日本第一の大勸工場

本場の特色
本場はあらゆる内外の商品を陳列販賣す
本場は正札付品質精撰價格低廉の率先者なり
本場は多少に不拘御買上品は市内無賃配達す
本場は物品切手を發賣し御室次第何品にても引換をなす

東京新橋角
帝國博品館
電話新橋一六五二　一二六一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

旅行用其他のカバン數千種整備ス
價格至廉
確實ニ販賣ス

第五回内國勸業博覽會
賜 壹等銀牌

最新流行鞄各種
堅美實用

弊店ノ創明ハ七十餘ニ
業鞄店ア年治

京橋區銀座一丁目
電話新橋八五九
谷澤鞄店

○御照會ハ總て返信料を要す

西洋小間物
帽子各種
婦人用小間物

東京髮用具
内外化粧品
筆硯文具

中久商店

東京神田小川町通り
神保町一番地裏

正札附陳列場

淑女の續むべき新版

高等才媛文集 價三十錢 郵税六錢
淑女妙文集 價三十錢 郵税四錢
東京女子遊學案内 價三十錢 郵税六錢
新婚旅行 價五十錢 郵税六錢
婦人の美觀 價廿五錢 郵税四錢
婦人と家庭 價廿五錢 郵税四錢
婦人の使命 價廿五錢 郵税四錢
婦人と文學 價廿五錢 郵税四錢
婦人と實務錄 價廿五錢 郵税四錢

發兌 東京神田錦町一、文學同志會

吉川潤二郎譯述
人生の行路（第五版）
第三編生活の趣味（新刊）
この巻には、特に婦人に對する教訓が收められてあります

（要目）

交際社會	家庭の團欒	流行と奢侈
女子の交際	淑女の生活	快樂と大笑
挨拶	婦人の勞力	職業と事務
會話	女性の實務	禮儀と鄭重
音樂	容貌の艶美	暗涙一滴
書籍	衣服の整頓	成功の要訣

全部完成 第一編より註文に應ず
合本 發賣 各冊金參拾錢郵税四錢
（定價）金壹圓 郵税十錢
クロス製金文字入
木下祥輯 女子の新職業 金參拾錢 郵税四錢
眞編輯 新撰女子文範 金參拾錢 郵税四錢
五十嵐越郎編
月刊雜誌 家庭之友 一冊定價金六錢 郵税一錢 半年分前金郵税共六十錢

販元 東京駒込西片町十番地 内外出版協會

天賞堂

八重紐 為信兵衛 油
為信兵衛 すき油 御髮油
為信實 も少香油

賜有功賞
本舖 東京市日本橋區田所町 井筒屋香油店

正札附 廉價販賣
美術小間物商 三ツ井屋
東京市神田區須田町十番地
電話本局二〇七六番
支店 新橋勸工場 神田東明館 内

意匠新 新しき髮かんざし、リボン、ヘーアピン、サイドコム

廣島名產 山もみぢ饅
廣島市大手町二丁目
御製元 圖案原 鐵平
御一報次第見本切手送呈す

高等香油
チエリーオイル
紳士貴婦人令孃用

此品は無色透明さらくとして其の如く香氣は香水に異ならず故に紳士は勿論、貴婦人令孃方に目下大ゐに流行せる彼の束髮用としては最も常に高評を博しつゝあり

定價八十五錢、四十五錢、廿五錢（送料各十錢）

賣捌は全國有名なる小間物化粧品店にあり

發賣元 東京日本橋區本町二丁目 高橋初次郎 特電四一一三番

最上醬油元祖
上 ヤマサ
醸造元 下總銚子町 濱口儀兵衛
荷扱所 東京北新堀七番地（電話浪花二五九四）濱口支店
○宮内省御用達也
○開業二百六十一年
○品質の吟味嚴重也
○風味他品に超絶す
○日本一の釀造高也
北海道函館末廣町 濱口支店
大阪西長堀南通一丁目電特（西三〇〇五） 濱口出張店

登録商標 ホルマリン石鹸
衞生無二殺菌防腐之三種石鹸
消毒 化粧 洗濯
●定價 消毒用金二十錢 化粧用金十五錢 洗濯用金五錢

今般弊店創製發賣のホルマリン石鹸は現今醫學藥學兩社界に於て無害にして卓絶なる防腐藥として賞用さるゝ（ホルマリン）を適量に含有せしめたるものなれば其効力の顯著なる彼の諸病原菌中に於て最も頑強の脾脫疽菌も本品二萬倍の稀薄液に因て死滅すと日本藥局法註解に下山藥學博士の記述せられ有を以ても明かなり故にシラクモ田虫水虫シツ ヒゼン、ニキビ、ソバカスの如きは勿論癩病、黴病、等の諸毒を消し殊に本石鹸の特色は如斯効用に兼ぬるに優美高尚最も世人の嗜好に適する高貴の香料を配伍しあれは其佳香云はん方なく馥郁として使用後と雖ども長く衣体に薰るべし請ふ論より證據御試みありて必ず衞生保健の完全を期せられんことを

官許本舖 東京市日本橋區本町三丁目七番地 登記商號 圓城商店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

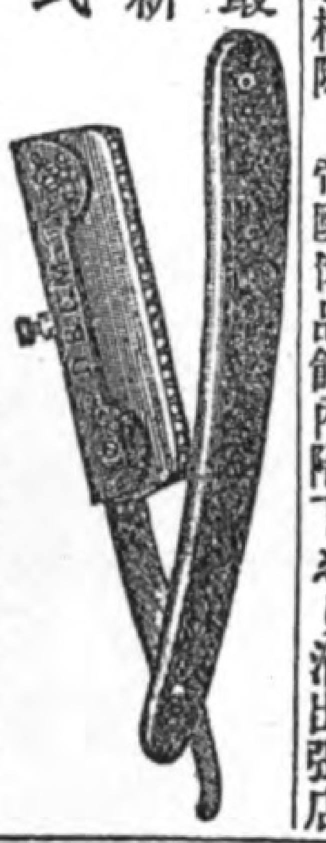
從四位淺田宗伯先生直傳 淺田飴

良藥にして口に甘し
定價 金五拾錢 金參拾錢 金貳拾錢 金拾錢

本品全國到る處の藥店に販賣す
本家 東京神田鍛冶町 大阪北久寶寺町 堀内伊太郎

御勅題 新年河 半ゑり帶揚類
○肩掛 縮緬縫刺 東花織 旭織 九重織
○絹毛織 三德形 凱旋ショール類多
○肩裏地○繻伴袖地○長繻伴地○紋附頭巾
○男ゑり巻○ネキタイ○元祿美人ひも帶止
○有効 ○受賞 まげ入ゑり治形○すゞめ形○紀念形
○高等洗粉チエーリー香料スミレイ麝香入
新橋竹川町十二番地 電話新二〇二七 本店 ゑり治
神田表神保町壹番地 電話本局九五二 支店 ゑり治
新橋際帝國博品館内階下 ゑり治出張店

最新式



舶來安全かみそり及革砥數種新荷着仕候間御用命希候
佛蘭西式錨印 髪刈器械各種
和製舶來 裁縫はさみ各種
定價表は御照會次第直に送呈申上べく候
東京市日本橋區てりふり町 電話浪花八五七番 まどや

鹿齒磨は
本品煉と粉の二種あり
特色は齒牙の保全と口中の爽快
東京馬喰町 花王石鹼本舖 長瀬富郎 電話浪花三番

美人ムスク石鹼

此全形ナキ物ハ模範ナリ
美人ムスク白粉
輸入元 東京市日本橋區和泉町 桑原花生堂

ゑり善
日本橋區堺町通ふきや町

富貴竈
室内暖爐
洋食器具一式
商品目錄御一報次第進呈す

阿部彦四郎商店

特許 輕便料理ストーブ

和洋割烹兼用

陸軍御用
專賣特許 空氣暖爐

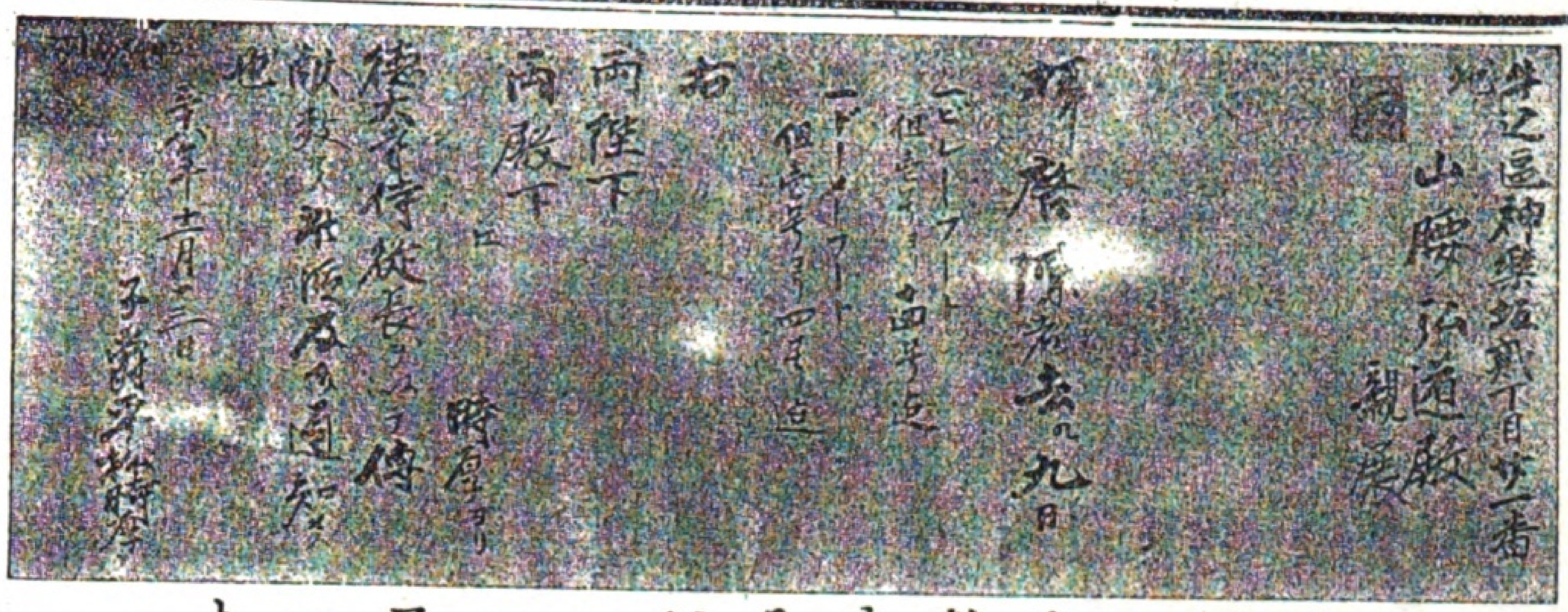
◉本器は滿韓樺太等に於て防寒用として缺くべからざる要器なり
本器は少量の炭を以て空氣の作用に依り強烈なる温熱を發する世界唯一の暖爐なり
特製一個 金六圓二十錢
並製一個 金五圓四十錢
◉荷造實費箱代一個金四十錢申受候
◉本器說明書は御一報次第進呈す
製造發賣元 東京市淺草區諏訪町一番地（特電話下谷八三二番） 小原商店本店
關西發賣元 大阪市南區安堂寺町御堂筋（特電話東四六二番） 小原商店支店

有川豐民編輯
百事便覽 家庭の教師
美裝鮮明三〇〇頁
正價金廿錢
（市外郵税料四錢 切手代用一割増）

【利益】【特權】本書は即ち家内の相談役なるを以て年始年末の文明的贈物に最も適當なり依て五十部以上の購求者には無料にて所要の文字を希望の場所に印刷す一部購讀者には普通會員證を贈り五十部以上購求者には特別會員證を贈呈して質問求答の權利を有せしむ其外會員には種々の便宜あり

大別目次
皇族、貴族、海軍、陸軍、鐵道、實業、路程、名所、交通、年代、年齢、滿年月、徵兵、日數、利息勘定、日歩年利換算、米價算出、度量衡、貨幣比較、諸規則、各種手數料、現行法令、會社法、軍人遺族賜金受取方、新領地心得、料理、衛生、化粧、交際、看病、獨占、漁獵、家庭養鷄、手藝、工業、農事、奇法、娛樂、歐米都市案内、世界の金持、海外渡航手引
發行所 東京青山南町二ノ五三 農民義會出版部

各女學校御用
美術造花材料各種
東京日本橋區横山町一ノ十六
天野卯兵衛商店
（電話特浪花一六四三番）
營業案内は往復葉書にて御申込次第送呈仕り候



無上の光榮あるビレーフート

新發明ビレーフート定價表

(特許願二八八七九號 實用新案登錄 登錄商標)

第號	筆者。畫題。印刷。種類。	形狀	六枚一部定價	郵稅
第一號	コローダイフ寫眞版	和形	金十二錢	二部迄 二錢
第二號	着色コローダイフ寫眞版	仝	金十五錢	仝 仝
第三號	寫眞ドー版	仝	金十錢	仝 仝
第四號	細密日本畫木版	仝	金四十五錢	一部迄 二錢
第五號	古代近世美人木版	仝	金四十五錢	仝 仝
第六號	絶景水彩畫石版	仝	金三十五錢	仝 仝
第七號	川上演劇王冠石版	仝	金十五錢	二部迄 二錢
第八號	特別製川上演劇王冠寫眞版	仝	金二十錢	仝 仝
第九號	觀櫻美人寫眞版	仝	金十錢	仝 仝
第十號	藤花美人寫眞版	仝	金十錢	仝 仝
第十一號	海水浴美人寫眞版	仝	金十錢	仝 仝
第十二號	菱川師信筆元祿風俗木版	洋形	金二十五錢	仝 仝
第十三號	水野年方筆歷史美人木版	和形	金七十錢	一部迄 二錢
第十四號	中古諸大家絶世美人木版	仝	金四十錢	二部迄 二錢
第十五號	玉樂筆花鳥木版	仝	金六錢	仝 仝

關西大賣捌店　大阪市淡路町堺筋角　早崎彌兵衛

名古屋大賣捌店　名古屋市住吉町三丁目　武田乙一

加州大賣捌店　金澤市青草辻　丹羽理一

無上の光榮あるドーメーフート

新發明ドーメーフート定價表

(特許願二九七八三號 實用新案登錄 登錄商標)

第號	筆者。畫題。印刷。種類。	形狀	定價	郵稅
第一號	平岡筆草花水彩木版	和式	三通一部 金十五錢	二部迄 二錢
第二號	佐竹永邨筆花鳥木版	仝	仝 金四十五錢	仝 仝
第三號	佐竹永邨筆景色木版	仝	仝 金四十五錢	仝 仝
第四號	佐竹永邨筆草花木版	洋式	仝 金四十錢	仝 仝
第五號	最上奉書紙	和式	一通 金參錢	八通迄 二錢
第六號	最上江戸川紙	仝	仝 金二錢	十通迄 二錢
第七號	仝 仝	洋式	仝 金二錢	仝 仝
第八號	鳥之子黒流シ紙	和式	仝 金七錢	仝 仝
第九號	鳥之子雲紙	洋式	仝 金七錢	仝 仝
第十號	純白高檀紙	和式	仝 金六錢	仝 仝
第十一號	玉樂筆花鳥木版	和式小判	三通一部 金七錢	四部迄 二錢
第十二號	玉樂筆花草模樣木版	仝	仝 金五錢	仝 仝

總て前金之外一切發送せず郵券代用一割增

ビレーフート小賣　ドーメーフート陳列所　東京市下谷區池ノ端仲町通り七番地　文永堂

製造賣捌元　東京市日本橋區馬喰町一丁目　中村封筒部　電話浪花二千百六十二番

十七版

產科婦人科楠田病院長 楠田謙藏先生閱並序　產科婦人科專門醫 渡邊光次先生著

普通姙娠論 附り 姙婦の攝生

本書は久しく產科婦人科に從事して經驗に富める專門醫渡邊先生の著にして生殖器の解剖、生理、衛生を始めとし生殖に影響する全身の疾病婚姻並婚姻後の注意姙娠並姙娠後の攝生に至る迄廿三章百廿項を設け悉く網羅して平易簡明に說述し加之精巧なる石版圖畫數十葉を挿入し振假名を付せられたれば苟も自己の健康に注意し系統を播殖し

強健の子孫を得んと欲する諸君は男女を問はず必ず一讀せざる可からざるの好著述なり一たび此書を繙かば多病なりし夫婦は壯健となり不和なりし閨門は圓熟し不姙なりし婦人は可憐の小兒を擧ぐるとを得ん大方の諸君乞ふ世にありふれたる此種の著述と同一視するとなく一讀其不幸を癒せらる可し

續編 小兒養育法　合本紙數二百五十頁　石版精圖四十個懷中本　●正價六十錢　密封小包郵便十錢

一名 **兒を設くる法**

〇家庭衛生新書　岡部醫師著　四十五錢　郵稅四錢

〇姙產婦の心得　一名安產育兒の法　價三十錢　郵稅四錢

〇普通臨床看病法　醫士七關氏著　正價卅錢　郵稅四錢

〇普通療病新書　醫師關氏著　價六十錢　郵稅四錢

〇衛生講話婦人の友　渡邊光次著　五十五錢　郵稅六錢

發行所　神田鍛冶町　電本九四九　誠之堂書店

本會講義錄之批評

▲報知新聞評　高等女學校の全學科をば知名の女子教育家が講述せるもの也平易と懇切とを主とせるものなれば、何人も難解の虞なかる可く、各科皆聯絡を保ちて其程度を一にせるなど、講述者の苦心を見るに足る、且つ有益なる科外講話の外に「姫百合」と題する五十頁の附錄あり博士學士等の婦人に關する評議史傳衛生家庭等の文字を滿載して、一面雜誌の觀を備ふ、卷末更に田口掬汀の「學者の妻」といへる面白き小說あり、凡そ天下講義錄多しと雖も、實益と趣味と併せ有する事斯くの如きは稀なりと云ふ可し

▲中央新聞評　講述何れも平易にして親切を極あたれば初學の講習に最も可也

▲每日新聞評　米國の通信教授法を參酌せる者、文字平明說明懇篤を盡くせり

▲朝日新聞評　女學獨習の便を圖り平易懇切を旨とせる女學講義錄を發行せり

▲二六新聞評　高等女學校の全課程を講了すべく各講述者の態度頗る着實なり

▲日々新聞評　講義はすべて平易と親切とを勉めて毫も難解の憂なきに似たり

▲都新聞評　講義平明用意親切なれば數多き女學雜誌中一領域を招き得可し

▲貿易新聞評　從來の講義錄中最も進步したるもの、一、三百頁の大冊子なり

大日本淑女學會

高等女學通信教授　▲貳ヶ年卒業▲講義平易懇切▲講師は專門の名家▲講義錄月刊一冊參百頁▲會費低廉

目下入學の好機　詳細なる規則は申込次第進呈す

大日本淑女學會　東京神田南甲賀町十番地(電話本局三千四番)

醫院案內　(順ぐりの事)

院長醫學士 鳥山南壽次郎　鳥山內科院　午前診察 午後往診　京橋區銀屋町十一番地　電話新橋千七百四十六番

小兒病診療　醫學士 內田愼太郞　宅診午前 往診午後　淺草區福井町貳番地　電話下谷七一八番

院長 醫學博士 榊順次郎　每日午前診察　副院長 醫學士 久保德太郎　每日夕刻診察　婦人科產科榊病院　東京麴町三番町卅三(電話番町三九五)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京市麹町區錢瓶町（常盤橋内）
日本興業銀行
電話本局（三、三〇〇番 四一一番（特）三三七番 一〇二番）
一定期預金　年五分
一當座預金　日步七厘
一特別當座預金　日步一錢

合名會社　森村銀行
東京市日本橋區通二丁目
電話（特）本局六七三番
定期預金　六ヶ月以上　年六分
當座預金　百圓に付日步　壹錢
特別當座預金　同日步　壹錢參厘

資本金八千百萬圓
東京京橋區木挽町
株式會社　十五銀行
電話新橋　三〇〇番 三三〇番 一五九三番
同日本橋區新乘物町
同　日本橋支店
電話浪花　一〇一番 一七四番 三二〇八番 三三五〇番
一定期預金　六ヶ月以上年五分
一當座預金　日步七厘以下
一特別當座預金　同　壹錢

米國セントルイス萬國大博覽會銀牌受領
陸海軍御用

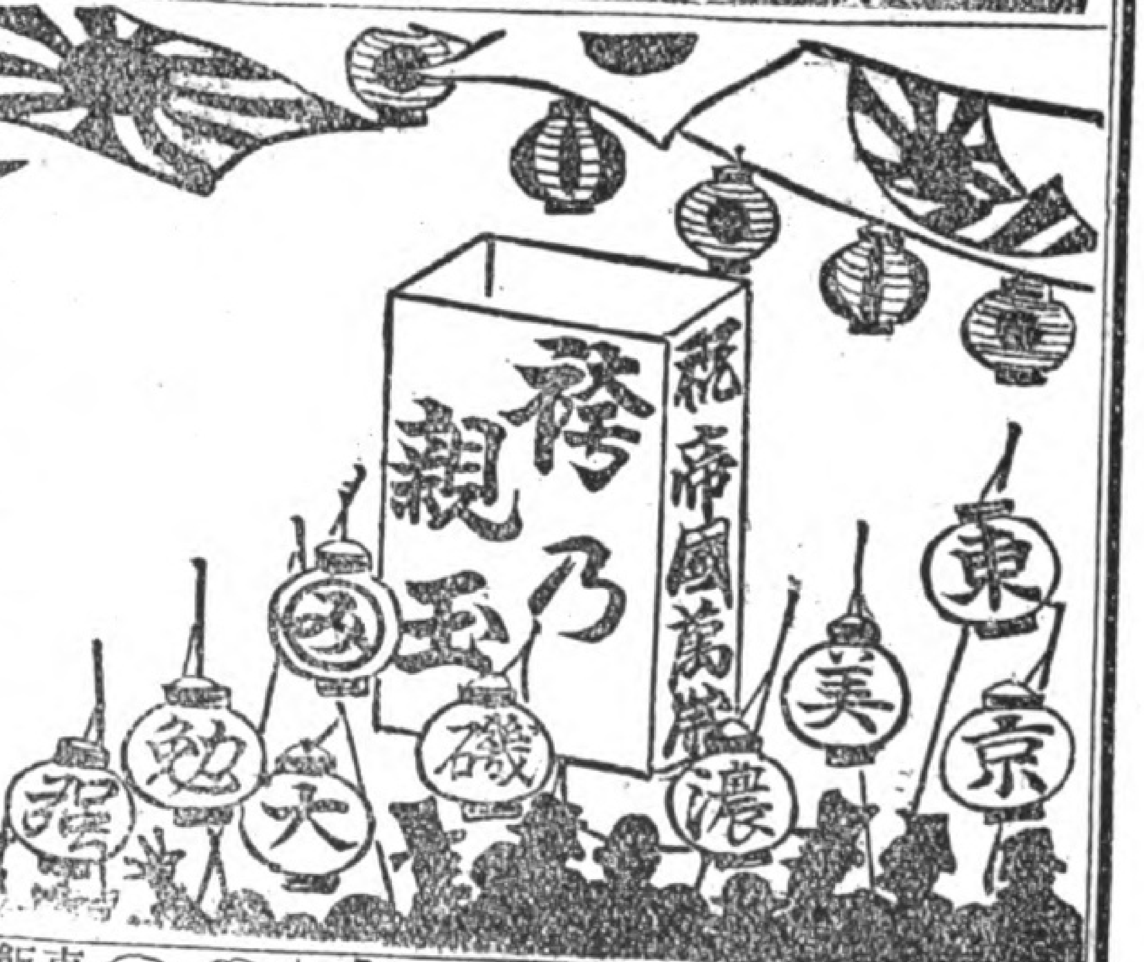
象印齒磨は品質にして衛生上及び齒牙に殊効あるの故を以て豫て陸海軍の御用品たる事既に江湖多數愛顧者の熟知せらるゝ所なりと雖ども今回の事局に際しては出征軍士の爲めに恤兵部の御買上品に選定せられ益々御用命を蒙るに至りしは本品の最も光榮名譽とする所なり
關西代理店　大阪　藤森源之助

◎牛豚肉販賣及西洋料理◎
◎品質佳良の肉類廉價に販賣候
◎配達は迅速に且つ正確に致候
◎滋養と風味の西洋料理調製候
◎西洋料理出前は格別相働き候
◎米店は精撰の白米廉價販賣候
◎御注文は電話又は葉書て願候
小石川表町廿二番地　電話番町六五九　西川本店
本郷區駒込東片町五番地　電話下谷二三七一　西川支店
小石川表町十一番地　電話番町一四六一　西川洋食店
小石川表町十八番地　米穀商　西川嘉門

ヤッコ

女俳優マダム川上貞奴
佛國巴里シャルコー病院
ドクトルベルガニー先生發明
西洋みやげ
此「ヤッコ」にて顔を洗へば西洋早化粧ゆへ日本流の薄化粧をせずとも顔をきれいにし常に用ひれば白色人種の如く色を白く艶を出し顔の小皺をのばし皮膚を滑にあらすことなく白粉のつきをよくす論より證據皆さん洗つて鏡を見よ
◎定價一錢廿錢全國送賃四錢三錢　美麗函入五十五錢同送賃十錢（此箱入には西洋男女化粧法の秘傳をくわしく書たる製本を添ゆ）

カール
此「カール」は佛國一流の女俳優「サラベルナ孃」愛用の毛養劑にして第一毛を生し、毛を良くし、毛をフックリとしてくせと縮毛を直す、油を代用し毛のねばりとよごれを取りサラ〳〵として衣類をよごさず東髪締入下げ髪の令孃方には無くつてならぬ發明品、島田、丸まげにはびんたぼを……フックリさせ髪形をよくすること妙◎定價七袋分入廿二錢全國送賃四錢三袋入十二錢一袋入五錢同送賃二錢
東京神田區旅籠町九番地
ヤッコカール日本一手發賣元
地球堂　田中丹治
◎ヤッコ。カールとも全國有名小間物店賣藥店に賣捌あり若し無くば代價へ送賃を添へ發賣店へ注文すれば急送す



東京日本橋區長谷川町
卸部　美濃磯本店　電話浪花二八五九番
本郷區本郷五丁目
小賣部　美濃磯本郷支店
淺草區諏訪町　電話下谷一四一五番
美濃磯淺草支店
日本橋區佐内町
美濃磯佐内町支店
神田區小川町
美濃磯神田支店
深川高ばし際
美濃磯支店
芝區新櫻田町
小田商店
牛込區神樂町一丁目
伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目
伊澤支店

四谷區北伊賀町貳番地
内科一般　前宅診 後往診
正七位　靑木鍋之助
靑木醫院

神田區西今川町三番地（電話本局三〇一九）
内科病特に腦脊髓神經疾患
院長　ドクトル　メヂチーネ　峰秀世
峰内科醫院

東京日本橋區濱町三丁目七番地
産科婦人科
楠田病院

東京市麹町區飯田町四丁目九
◎婦人科◎小兒科專門　午前宅診　午後往診
女醫　鷲山彌生

東京神田錦町參丁目電本七一五
山口眼科病院
院長　醫學士　山口秀高
診察午前午後　入院隨時

東京神田區美土代町三丁目十七番地
内科一般　午前往診 午後宅診
板垣亨
電話本局貳千九百七十番

◎水原産科婦人病院
○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千八百〇九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

産科婦人科專門
ドクトル　樋口繁次
歸朝後於本院診療に從事す
各科診察從前の通
芝愛宕電新二六四
東京病院

内科小兒科
麹町ハヤブサ町二八
ドクトル　川瀨元九郎
電話番町八三三

▲小兒學校生徒診察種痘
東京内幸町一ノ三
三島醫院長
醫學博士　三島通良
毎日午前　電話新橋四七四

◎産科婦人科
◎京橋區南鍋町一の一角
◎朝八時より正午　◎夕五時より八時
醫學士　伊庭秀榮

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱

京橋區數寄屋橋外 博報堂
神田千代田町 弘報堂
京橋區南紺屋町 一星社
京橋區八官町 廣告堂
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋區箱崎町 春風舍
京橋區宗十郎町 正路喜社
京橋區日吉町 帝國通信社
同區南鍋町 京華社支店
同區加左衛門町 廣告社

年末年始進物用適當品

洗用ワツセル

◎此ワッセルは泥じみ油あか如何なる汚れても揉ずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります

◎用法は湯一升に二匁（小杯へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し揉ずに置き後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシヤツの如きは（拾貳匁）入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶解してかもじを洗ふ用に揉ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具を拭き掃除にも有効です

定價　拾貳匁入 金拾五錢　六匁入 金八錢　袋入二錢

芳香御肌洗粉ワツセル

◎此肌洗粉ワッセルは當時歐米各國貴族社會に流行する芳香類を加味し製造せしものなれば朝夕御使用の方は香氣馥郁として肌持晴々す又おしろいしたを用ひずして御化粧が出來ると妙なり

定價最上 金七拾五錢 金貳拾錢　普通 五拾錢 六錢　參拾錢 三錢　拾七錢

英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌洗ひこ芳香ワッセル製造元
東京市京橋區三十間堀三丁目 電話新橋一七一二
三友商會

陸軍省御用達

凱旋紀念

銀杯 木杯 定價表 御入用之節ハ御通附可仕候

東京市日本橋區室町貳丁目
漆器蒔繪商 木屋本店 林九兵衛
電話本局 特九九七 一七一〇

二十世紀新案
シユース形鼓賣

男女表付特製ゴム入
天地金貳圓也
地金壹圓八十錢
人金壹圓五十錢

本品は步行に輕妙粹にして更に下卑にならず高尚なる御履物なり

貴婦人令孃向御草履各種
新形表附御履物澤山取揃有之候

淺艸區茅町貳丁目
香
香取屋本店
電話下谷一一九二

市内は御一報次第直に店員相伺可申候
地方は御注文次第引換小包を以て御送附可申候

紳士貴婦人ノ頭髮ヲ整美スルニ適シ香氣保有汚垢ヲ生セサルヲ特点トス

香油 ゴールドオイル

煉香油パール發賣元
東京濱町一 電浪一一〇
平尾分店

洋酒食料品雜貨卸小賣

一 嶄新高尚肩掛長卷
一 巴里新流行高等婦人帽子。並にボーア
一 英國ビーハイ印毛糸並に玉スコッチ
一 凱旋軍隊玩具各種
一 洋花。リボン。レース流行コム櫛。香水石鹼白粉 其他西洋小間物一式

東京市京橋區銀座三丁目
伊勢與 三枝小賣店
電話新橋三九二七

戰勝紀念ピン

銀金の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちはその各胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の念と紀したまへかし。

定價 純銀製 一個 金三十五錢以上（餘は御好み次第迅速調製可仕候）

手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠をしあれば世の紳士たちは洋服に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

此圖案の外陸海軍連勝にちなめる斬新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候

宮内省御用達
東京市下谷區池の端仲町
玉寶堂
電話下谷 特九六五番 一二四四番

來る十二月一日より

歲暮大賣出

よせきれ反切反物階上に陳列

日本橋通四丁目
松屋呉服店
牛山武兵衛
電話本局七一六番

米國齒學博士シヤス氏發明藥
齒藥之王
日本齒大醫實驗頌讃功能保証

一六散

齒の痛直に止る保証
齒の腐蝕崩砕を止る
齒の※熱を去る
齒の動きを能く締る

價拾錢廿錢送料貳錢
各藥店に取次
寢にならず口の荒も共に治る香でもよし
東京木挽町九丁目八番地 木原山石窪藥房

英國新輸入
無毒製最優原料
改膚艶美
クイーン粉白粉
クイーン水
本舖 花陽堂

取粗販賣は到る處の小間物化粧品店にあり

洋酒食料品雜貨卸小賣

西洋酒食料品、シガー、シガレツト、香水、石鹼、食卓用器具及割烹用道具一式

直輸入

東京神田南神保町十三番地
（電話本局二四五二）
櫻屋商店

大日本女學會

◎本會は十年來女學の通信教授に任じ本會の敎を受けし者既に三萬二千人に及べり

◎本會は伏見若宮妃殿下を名譽總裁に奉戴し鍋島侯爵夫人會長として會務を監督す

◎本會講義錄の學科は諸名家が多年の經驗にて面白く解し易き樣工夫せるものなり

◎本會の講義錄に高等科と簡易科とあり高等科は月謝四十錢簡易科は同二十錢なり

◎今度新學期を開き簡易科は十一月五日に高等科は同廿五日に孰れも初卷を發行す

東京市麹町區下二番町三十七番地
大日本女學會
電話番町一三三〇

◎詳細は會則書にて請求あれば送呈す（※詳細又は會則書は希望者に請求あれば電）

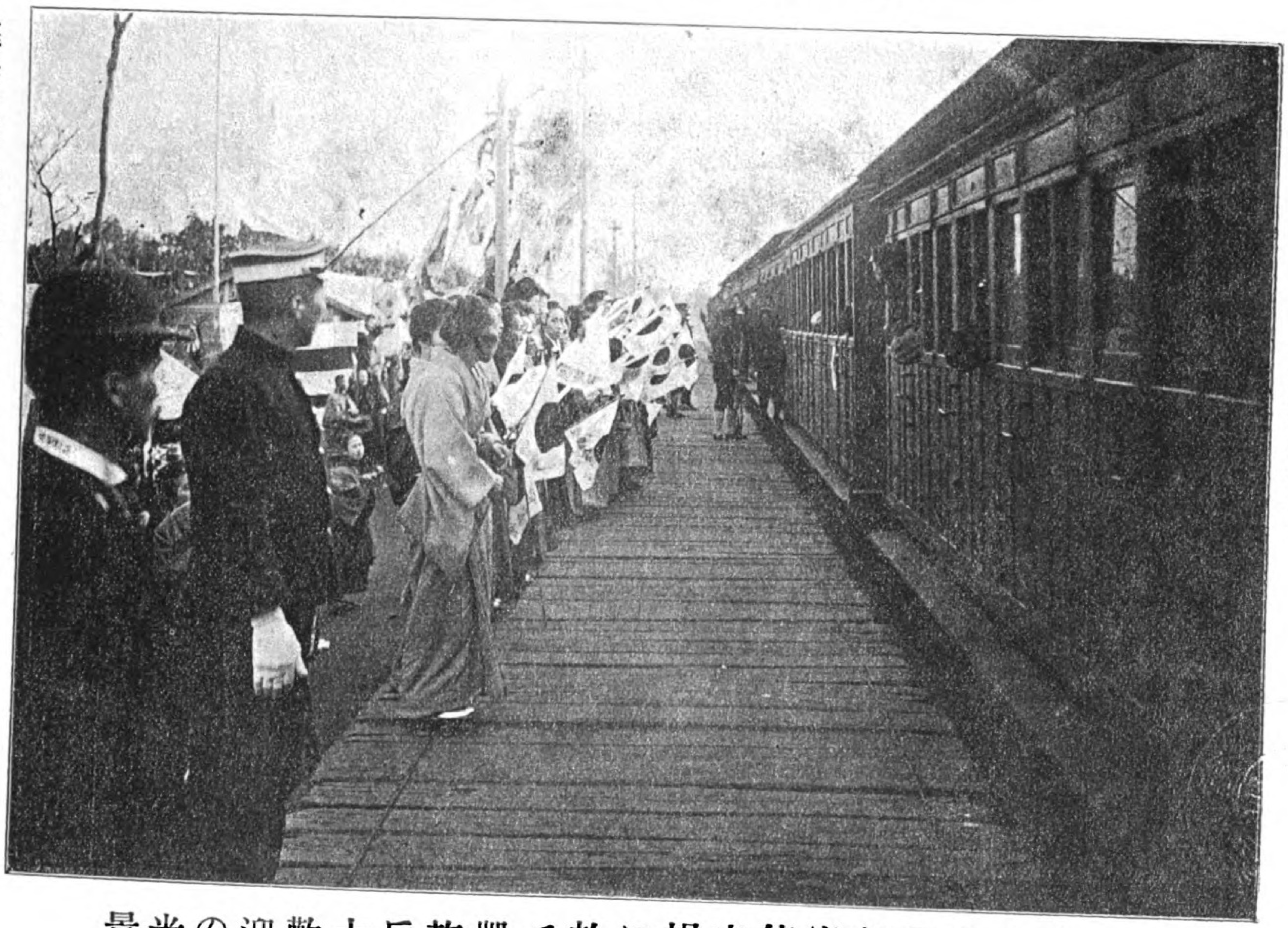
明治三十八年十二月五日發行（毎月五日二十日二回）

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會內

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人第九十三號附錄

明治三十八年十二月五日發行（每月二回五日廿日）
明治三十五年三月廿七日（第三種郵便物認可）



我が會員新宿停車場に於て凱旋兵士歡迎の光景
（圖中第七番目の背高き婦人が波多野司法大臣夫人　其次が大山侯爵夫人　其次が柳谷評議員）

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會內愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十八年十二月五日發行（毎月二回五日廿日）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

地方の讀者に告ぐ

●未熟なる編纂なるにも拘はらず數年來御愛讀の榮を辱うし深く感謝の至りに候

●讀者の御引立により本紙も日に月に進歩し最初のページより殆ど倍數印刷致候

●年の改まるに從ひ益々紙面の改良を計り申度につき絶へず御忠告を願ひ上げ候

●紙面の改良を計ると同時に讀者に於て債務の負擔なからしめん事を期し申度候

●讀者を信ずる事深く數年の間新聞を送り候も代金の御催促致し候事更に無之候

●我が讀者は勞力に對する報酬を支拂に吝ならずして一回も送金せぬ方は無之候

●多額なる金錢は忘却する事なきも少額なる金錢は兎角く忘れ勝ちの事可有之候

●毎月帶紙に「盡」の一字を捺して差送り候は前金切れの事を御知らせする積にて候

●少額なる金錢も發行所に取つては極めて必要につき此暮れを境に御送金願度候

●假令ひ僅かにても債務を負ふて逝く年を迎候事は淑女の潔しとせぬ處と信じ候

●爲替を組む等面倒に候はゞ郵便切手にてもよろしく一割増を添へて送られ度候

●年末になり家庭用の物品御購入の必要も候はゞ如何樣にも御便利取計可申上候

東京市麹町區飯田町一丁目

愛國婦人發行所

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會内愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN